**≪2023 年 3 月　公開サロン（通算 317 回）報告≫**

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

# みるスポーツとしての FIFA ワールドカップ

## －カタール大会を振り返って－

徳田仁（㈱セリエ）、田中俊也（三日市整形外科）、
守屋俊秀（シニアサッカープレーヤー）、笹原勉（日揮グローバル株式会社）、
中塚義実（筑波大学附属高校）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日　時】2023 年 3 月 13 日（月）19：30～21：30　※終了後はオンライン懇親会（～23：30）
【会　場】オンライン（Zoom）
【テーマ】みるスポーツとしての FIFA ワールドカップ－カタール大会を振り返って
【演　者】徳田仁（㈱セリエ）、田中俊也（三日市整形外科）、守屋俊秀（シニアサッカープレーヤー）、笹原勉（日揮グローバル株式会社）、中塚義実（筑波大学附属高校）
【参加者（サロンファミリー）17 名】★は NPO サロン 2002 会員
磯和明、宇留間範昭（東急㈱／渋谷在住・在勤のサッカー好きなサラリーマン）、金子正彦（会社員）、木村康子（ライター／アーセナルサポーター）、★笹原勉（日揮）、鈴木崇正（会社員）、田中俊也（三日市整形外科）、★茅野英一（NPO サロン 2002 監事）、張寿山（明治大学／スフィーダ世田谷ブラインドサッカーチーム代表）、徳田仁（㈱セリエ）、★中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校）、野村忠明（会社員／埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員）、★本郷由希（会社員）、★守屋佐栄（スフィーダ世田谷サポーター／ウォーキングフットボールの競技者）、★守屋俊秀（シニアサッカープレーヤー）、★山内直（浦和レッズ）、吉原尊男
【参加者（サロンファミリー外）1 名】岡田浩一
【報告書作成】守屋俊秀

【キーワード】
FIFA ワールドカップ、カタール、みるスポーツ、ライブスポーツ、メディアスポーツ、観戦ツアー、㈱セリエ、ABEMA、徳田仁、田中俊也、守屋俊秀、笹原勉、中塚義実

【目次】
はじめに
Ⅰ．観戦ツアー企画業者の立場から：徳田仁
Ⅱ．観戦ツアー参加者の立場から①：田中俊也
Ⅲ．観戦ツアー参加者の立場から②：守屋俊秀
Ⅳ．独自ツアーでの現地観戦：笹原勉
Ⅴ．メディアで楽しむ「国内組」のワールドカップ：中塚義実

## はじめに

中塚：今年度最後の月例サロンです。完全オンラインの月例サロンは今回までとし、2023 年度からは対面ベースでオンラインも活用するスタイルで考えております。

今回は、「みるスポーツとしての FIFA ワールドカップーカタール大会を振り返って」です。第 1 部としてライブスポーツ編ということで、観戦ツアー企画の㈱セリエの徳田さんに 30 分ほど、まとまった話を用意してもらっています。で、そのまま続けて、この徳田さん、セリエのツアーに参加された田中さん、守屋さんにそれぞれ目安十分ぐらいずつ、そしてツアーには参加しないで独自に行動習性を持つ笹原さん、本日は台湾から参加なんですが、笹原さんからもお話頂き、そして少し意見交換できればなと。ライブスポーツ編ですね。

で後半戦と、飲み会オンライン飲み会にも雪崩れ込むんですけど、大部分が国内で、テレビや、あるいはアベマで楽しみました。その辺りの話、私も写真を用意してありますので、私の関わりをちょっとだけ紹介します。参加されてるいろんな方からええざっくばらんに話をしながら、9 時半になったら飲み会に移行しようかなと。そんな風に考えています。

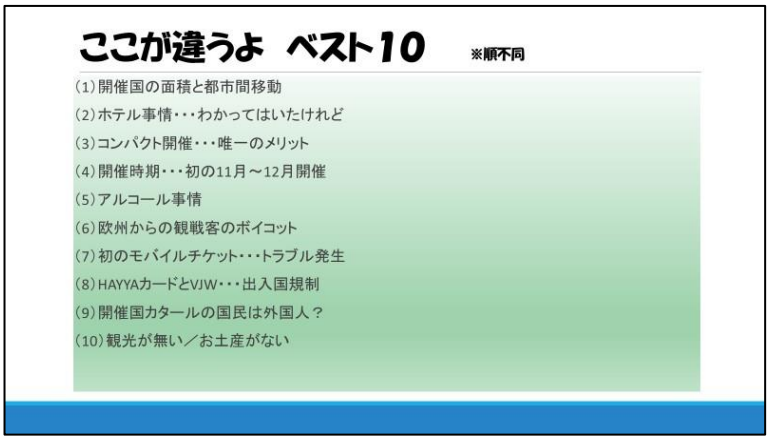
## Ⅰ．観戦ツアー企画業者の立場から：徳田仁（㈱セリエ）

株式会社セリエの徳田と申します。観戦ツアー専門の、変わった旅行会社を経営しています。今日はカタールワールドカップを振り返るということで 30 分ほどお話しさせていただきます。

夢の舞台が終わって約 3 ヶ月経ちますが、皆さんどんな感じでしょうか。私にとっては予想通りの日本代表の活躍で、大いに盛り上がった大会だったと思います。しかし残念なことに、現地にいると日本国内の盛り上がりが全くわかりません。途中から来たお客さんに、「すごい盛り上がってるよ」という話は聞くんですけど、実際どうだったのかとビデオで撮った映像をみたりしていますが、想像がつきませんでした。いま WBC で盛り上がっているのを見ると、ああこんな感じだったんだろうなと思っています。

個人的には、いま U-20 のアジアカップでヤング日本代表が準々決勝を勝ち抜いて準決勝まで行き、ワールドカップ出場が決まったところです。昨日の WBC の直後にやっていましたが、そういうのも少しぐらいは報道してほしいなと思っています。

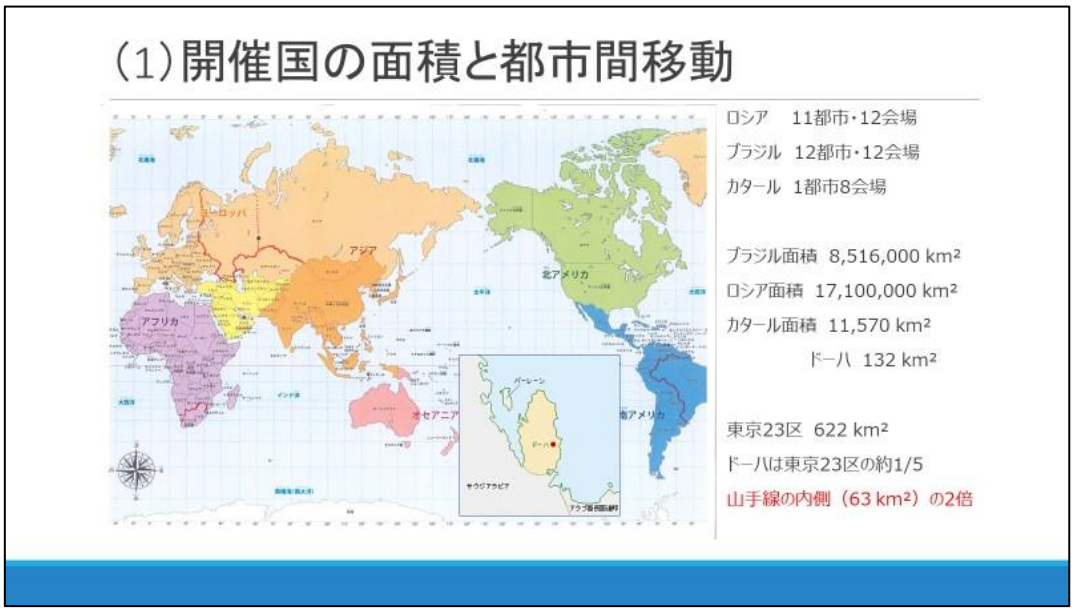
では本題に入ります。「これまでのワールドカップと何もかも違ったカタール 2002」というタイトルです。前半は、どこが違っていたのかということ。そして後半は、旅行会社として苦労したり心配したことについてお話します。私の会社にとっても初めてというか、いままでと全く違ったワールドカップでした。何しろ 2 年半、海外ツアーが全くできない状態だったので、開店休業していました。コロナ禍の出口にこのワールドカップがあったということが一番違ったことです。その分おっかなびっくり、手探りでスタートしたということがあります。




まず前半部分、いままでと何もかも違ったということについてです。「ここが違うよベストテン」にしてみました。1 位から 10 位というわけでなく、順不同です。挙げていくとキリがないので 10 個に絞りました。

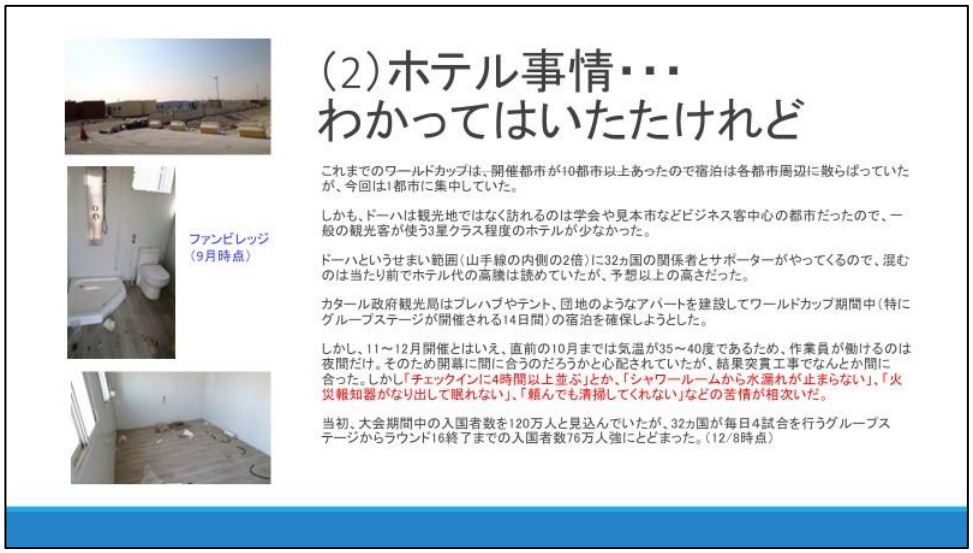
## １．ここが違うよ　ベスト 10

１）開催国の面積と都市間移動




ロシアもブラジルも都市間移動は大変で、ロシア大会では、日本が最初に試合をしたサランスクまで、モスクワから 13 時間、バスで行った記憶があります。とにかくワールドカップは移動が大変というイメージでした。今回はカタール、それもドーハ１都市ということで、そこが一番違います。ロシアに関しては、面積は皆さんご存知のとおりです。実際はロシアのこの辺でやっていました。ブラジルもこのぐらいあります。メルカトル図法なので、若干広げていますけど、ほぼ同じぐらいの範囲でやっていた感じです。南アフリカはここですね。ではドーハというかカタールはどこだというと、この辺です。拡大するとこの大きさになります。その中のドーハという、こんなに小さなところでやっていたということです。山手線の内側の二倍ぐらいです。こんな小さなところに 8 会場つくり、32 か国が全部集まってきたということです。これは前代未聞のワールドカップだったと思います。

２）ホテル事情－わかってはいたけれど




そのため、ホテルがメチャクチャ混むわけです。カタール政府は観戦に来た人の宿泊施設を用意しようとしていましたが、今までのワールドカップでは開催地が分散していたので、サポーターも関係者も、それぞれの試合の開催地に泊まっていました。しかし今回は、ごく狭いところに 32 か国の人達がみんな集まってきています。32 か国以外の人も集まってきます。とにかく混んでいました。政府はプレハブやテント、団地のようなアパートを建築し、ワールドカップのグループステージ（11/20～12/3）、ここが一番混むわけですが、この 14 日間をなんとかしようとしていました。

11 月開催といっても、その直前まではとにかく暑いですよね。私は 6 月と 9 月に下見で出張していますが 40℃以上ある日が毎日続く感じで、作業員も昼間は仕事ができません。夜だけ仕事しています。これで間に合うんだろうかと心配していました。この写真は、9 月の時点のファンビレッジです。ほぼできていません。建物と中身は一応セットされていますができていません。これが 2 か月前です。日本であれば 2 か月前には絶対できていると思います。マスコミも入れないし、全く報道されなかったということです。

できあがりはこんな感じになりました。見かけは綺麗で、人が歩く両サイドに宿泊棟がありますが、これがファンビレッジの宿泊棟というか建物ですね。中身は一応ちゃんとしていますが、泊まった人に聞くと、チェックインに 4 時間かかったなど、要するにオペレーションのトレーニングを全くせずに大会が始まってしまったという感じです。 機能していない部分がすごくあったと言われています。シャワーも水漏れして部屋中びちゃびちゃになったとか、ファンビレッジは週に 2 回清掃することになっていましたが、いくら頼んでも清掃してもらえないというようなクレームが出ていました。この辺に火災報知器がありますが、それが夜中に突然鳴り出してみんな起きちゃったという話も聞きました。そんな感じのアパートメントとファンビレッジです。

3）コンパクト開催ー唯一のメリット

コンパクトな開催ということが、唯一のメリットだったと考えます。スケジュール表を見ていただければわかります。開幕戦は後に一日ずらしましたが、1 日 4 試合ずつやっていくスケジュールになっているので、はしごができるというのが、いままでのワールドカップと違うところですね。試合は 13 時、16 時、19 時、22 時の 4 つの時間帯でやるので、1 試合飛ばせば、2 試合はしごができるということです。例えば日本 vs コスタリカを見た後に、最後のスペイン対ドイツを見られます。そんなワールドカップはいままでになかったと思います。

あとは移動の便利さですね。スタジアムはだいたい 1 時間圏内にあります。後ほどどなたかが語ると思いますが、観戦チケット所有者は大会期間中メトロの乗り放題パスが使えました。「ハイヤカード」という、入国時にビザの代わりになるカードがパス兼用になっていて、これを持っていれば自由に移動できました。このコンパクトさはメリットだったと思います。

アル・ベイト、アル・サマーマ、アル・ジャノブの 3 つのスタジアムは最寄のメトロ駅からシャトルバスに乗る必要がありましたが、それ以外のスタジアムは、メトロの駅から徒歩圏内で行ける便利さがありました。とにかく移動が楽でした。そういう面でコンパクトな大会はよかったと思います。

ただ気を付けなければいけないのは、月曜から日曜まで、メトロが動いているのは朝 6 時から深夜 3 時までです。普段は 11 時ぐらいでおしまいですが、大会期間中は 3 時まで動かしてました。しかしイスラム圏なので、金曜日は朝 9 時からしか動かないということでした。

４）開催時期

次に開催時期です。これまでのワールドカップは 6～7 月に行われてきましたが、今回は暑さ対策ということで 11～12 月となりました。この日程が決まった頃は、ヨーロッパのリーグを中心に猛反対があったのですが、それを押し切って開催したということになります。初めてのことです。その影響はまだ残っていて、例えばイングランド FA カップは通常土日にしかやりませんが、今シーズンは平日でも開催されている状況です。

先ほども言いましたが、EURO や東京オリンピックは無観客開催になりましたが、開催時期をずらしたことでパンデミックの出口に今回のワールドカップがあったことがタイミングとしてすごく大きなことだったと思っています。もし 6 月だったら、ツアーはできなかったかもしれないと思います。

11 月がどんな気温だったかというと、だいたい 25～33℃。開幕した当初はそのぐらいでした。決勝のあたりはかなり涼しくなっていて 18～22℃ぐらいの環境でした。また屋外にも関わらずスタジアムの中にエアコンが思い切り入っており、寒くて震えちゃうような時もありました。これもいつもと異なるところですね。

５）アルコール事情

あとはアルコール事情です。お酒が飲めるかど

うかは「飲んべえ」にとっては非常に大事なことですが、通常だとカタールでは四つ星以上のホテルで、ライセンスを持っているバーやレストランだけがお酒を飲めるんです。要するにホテルの外にあるレストランではお酒を一切出せないということです。しかし、それでは弊社のお客様は納得しません。事前にアルコールが飲める店を確保し 2 回試合後の飲み会を開催しました！　スペイン戦は夜遅かったので無理でしたけど、ドイツ戦とコスタリカ戦の試合後に 2 回宴会をやりました。定員以上に皆さん集まってくださって、試合の後に楽しく、負けた時もありますが、飲めました。基本的に禁止のところでできたのは良かったですね。

一番びっくりしたのは、当初の発表ではバドワイザーが試合会場で、試合開始 3 時間前から試合終了後 1 時間まで販売されるという話だったのですが、開幕前日に急遽 NG になってしまったということです。ホテル以外に飲めるのはファンゾーンだけになり、ファンゾーンでは 19:00～25:00 の間に 50 カタール・リアル＝約 2,000 円で飲めたというのが現地のアルコール事情でした。私たちはサッカー観戦とお酒をセットで考えていますので、飲み会は捨てられずなんとかして飲んだ次第です。

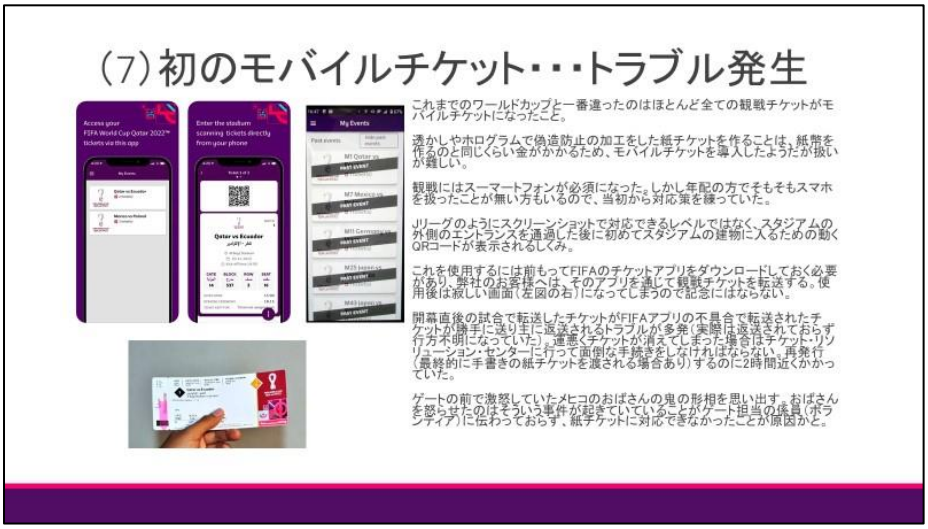
６）欧州からの観戦客のボイコット

一番気になったのは、カタール政府が仮設とはいえがんばって宿泊施設を用意したのですが、蓋を開けてみるとヨーロッパからのお客さんが少なかったということです。日本や南米ではあまり報道されてなかったようですが、炎天下での過酷な労働条件で外国人労働者に多数の死者がでた・・・10 年間で 6,500 人も亡くなった・・・ことや、LGBTQ に対する差別があるということで、ヨーロッパからのお客さんがボイコットのため少なかったです。いつもだとオランダのサポーターがガンガン来て、スタジアムがオレンジ色になるのですが、今回はそれが見られなかったのがちょっと残念でした。イングランドもフランス、ドイツ、スペインも、いつもより少なかったし、そういう意味では寂しい感じがしました。

話と直接は関係ありませんが、マッチデーカップはここ数回のワールドカップでは全ての試合で用意されていたのですが、今回は開幕戦とセミファイナルと最後しかありませんでした。こっちはファンゾーンのビールのカップです。その辺のアレンジも寂しかったなと思いました。

７）初のモバイルチケット

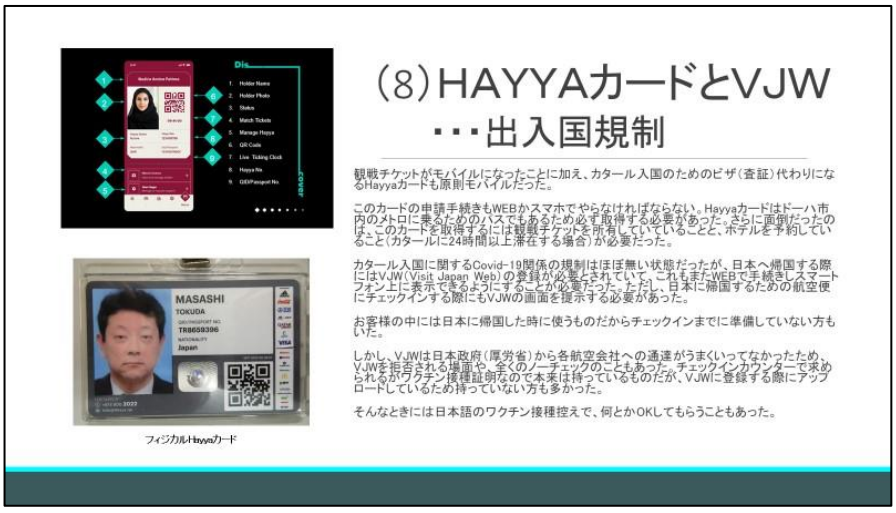
これが今回の一番のキモというか、これまでと完全に違ったところです。一部こういう紙のチケットもあるのですが、ほぼ全部がモバイルチケットでした。画面上で試合のチケットを押すと、この画面が出てきて、これがチケットになるんです。これは全部ブルートゥースで、スタジアムのエントランスに近づくと勝手にこの画面に切り替わるということですが、なかなか切り替わらない人もいて、トラブルが度々ありました。一番のトラブルは、トランスファーといってチケットを私達からお客さんに転送するんですが、その転送されたチケットは、スタッフがホテルを出るときにひとりひとりに、ちゃんとあるかを確認してから出発するのですが、スタジアムに行ったらそれがどこかへ行ってしまったというようなことが数回起こりました。ツアーのチケットはスタッフが付いているのです




が、自分でチケットを取った方でもチケットがどこかへ行ってしまった人がいます。元の人に戻ったというサインが出るんですけど、そんなことはなく FIFA アプリの不具合で実際は行方不明になっていて、それをリカバーするにはチケットリソリューションセンターに行くのですが、そこに行ったとしても解決するまで 2 時間もかかってしまう。試合前におみやげを買う時間が全くなくなっちゃうということがありました。試合が終わるとこういう画面になり、記念にならないんですよね。

最初の頃、このトラブルが多発していて、メキシコ vs ポーランド戦でメキシコのおばちゃんがめちゃめちゃ怒ってたのを覚えてるんですけど、そういうトラブルが発生してるってことをスタジアム建物の入口のスタッフに情報共有されていないため、再発行された手書きのチケットでやっと入場しようとしたら「なんだこれ」みたいな話になって、余計に怒りをあおったという場面を目撃したりしました。

8）HAYYA カードと VJW




それと HAYYA カードですね。基本的にはモバイル上のものなんですけど、こういうフィジカルのものも途中で発行されるようになりました。スタジアムに入る時にチケットとこの HAYYA カードの両方出さなきゃいけないんですけど、それを回避するために、このフィジカルというカード型になってるのも出てたんじゃないかなと思ったりしてます。 HAYYA カードに関しては、チケットとホテルを取らないともらえないということで、最初の頃、特に大変だったなと思ってます。

9）開催国カタールの国民は外国人？

それから、開催国カタールの国民のほぼ 10%しかカタール国籍を持っていない。ホスピタリティというか、歓迎ムードもやっぱり違うんですよね。日本ならボランティアも原則日本人ですが、外国人なので「ようこそ」いうよりは「仕事」って感じで。何度か出くわしたのですが、状況を理解できないやつ・・・まあこういう言葉はよくないんですけど「バカタール人」がいました。実際はカタール人ではないのですが。例えば、空港の建物の出入口で一度外に出たら中に入れてくれないってい

う・・・私たちは仕事上バスの位置とドライバーを確認するために外に出るんですけど、戻ろうとすると入れてくれなかったりするんですよね。 説明しても全くダメ。そういうときは早めに頭を切り替えて隣の出入口に行って入れともらいました。

10）観光がない／お土産がない

観光がない、お土産がないというのが今回の特徴でもありました。何度もカタールに行っていたので、デザートサファリとダウ船クルーズぐらいしか見るところがなくて。あと市内の旧市街にスークワキーフという所しかなかった。お土産も、実際に自国生産ってあまりなくて、チョコレートでも外国のものを持ってくる感じで、「カタール」の国名が入っているものがなかったですね。するとお土産はオフィシャルグッズに頼るしかなくて。La'eeb（ライーブ）というキャラクターがものすごい人気で、特に女性から人気がありました。最初はエイかなと思ったらそうではなく、白装束の男の人をモチーフにしたキャラクター（妖精）だということでした。ちょっとディズニーに似ているのですが、これはすごく人気ありました。

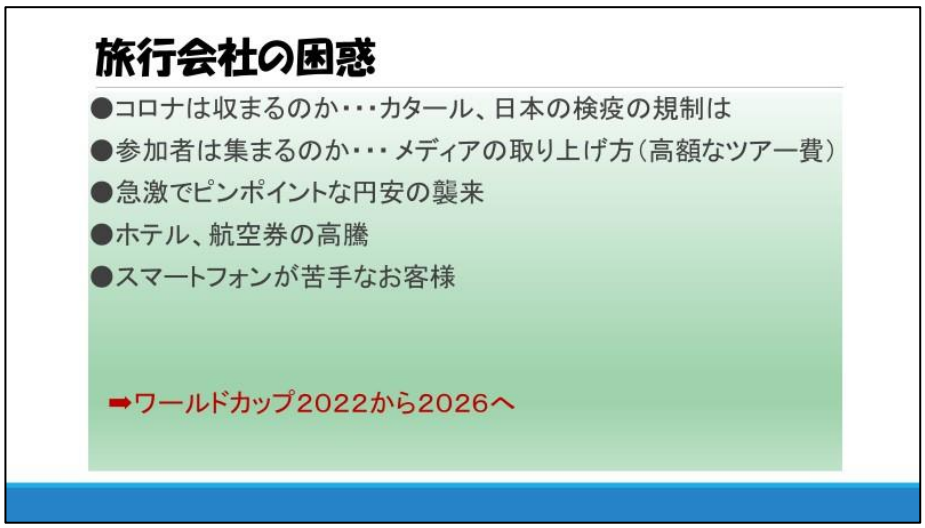
大会プログラムは、ブラジル大会も探すのが大変でしたが、ロシアは普通に売っていました。今回もプログラムはスタジアムに売っておらず、博物館の売店にあったという噂もありました。決勝だけ私も買いました。フランスとアルゼンチンの

対戦カードが入ってるぐらいなので、おそらく準決勝後に突貫で作ったのではないかと思います。日本円で 4,000 円ぐらいしたのを買ってきました。

これは記念紙幣です。 22 リアルの記念紙幣が売られてました。

## ２．旅行会社の困惑

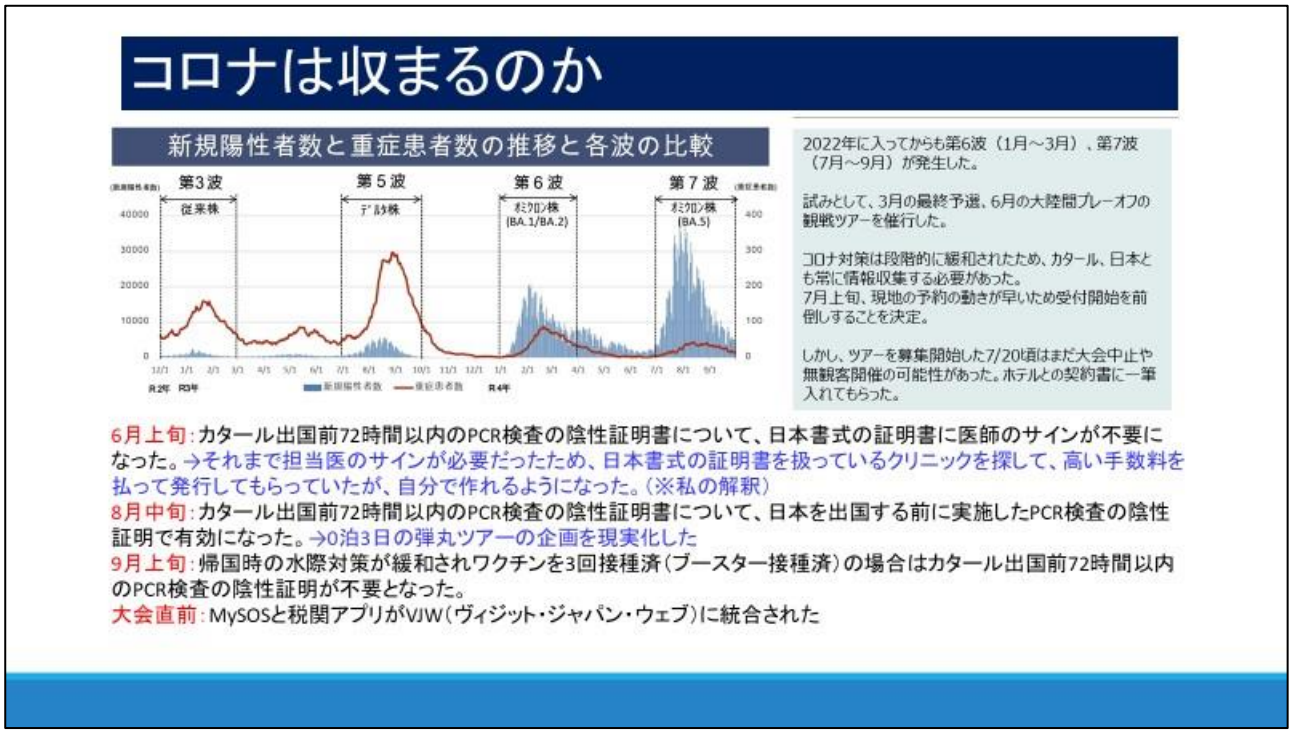
後半に入ります。コロナ禍で観戦ツアーを作る旅行会社の困惑についてです。




１）コロナは収まるのか

まず、コロナは収まるのかというのが、2022 年の初めに思っていたことです。2021～22 年の境目で落ち着いてきたと思ったら、2022 年になってからも第 6 波、第 7 波がきて、本当にできるのかという思いがすごくありました。それでも「やらないわけにはいかない」という気持ちで準備を進めました。

ただ、日本もカタールも両方ともコロナ検疫の情報がしょっちゅう変わるので、両方チェックしてるのは結構大変な作業だったのを覚えています。とくに日本に帰ってくるときの規制がすごく懸念されました。




ツアー募集を開始する 7 月 20 日の時点では、まだ正直、本当にツアーができるのか不安でいっぱいでした。東京オリンピックも EURO2021 も無観客開催でしたから、もし 11 月の時点で感染者が増えて

無観客になったらどうしようという懸念もしていました。なのでホテルと契約を結ぶ時に、無観客だったり中止になったら返金するいう、普段は書かない一筆を入れてもらっています。

6 月上旬までは、ものすごく面倒な日本の書式の陰性証明を取らないといけませんでした。それが 6 月上旬に、それまで必要とされていた医師のサインがいらなくなりました。サインがいらないということは、向こうでちゃんと検査して陰性証明を取れば日本書式の文書は自分で作れるということです。これは私の解釈ですけど、時間的にも費用的にもかなり楽になりました。そうやって 6 月に出張に行ってきました。

8 月中旬。今度は短期間の旅行の場合、72 時間前に日本で受けた PCR 検査の陰性証明が帰国時に有効になりました。 出発前に日本で受けた PCR 検査の結果が有効だということは、弾丸ツアーだと 72 時間前はまだ日本に居るわけで、現地で検査を受けなくても大丈夫・・これが大きかったですね。この緩和がなければ 0 泊 3 日の弾丸ツアーの企画はできなかったでしょう。

２）参加者は集まるのか

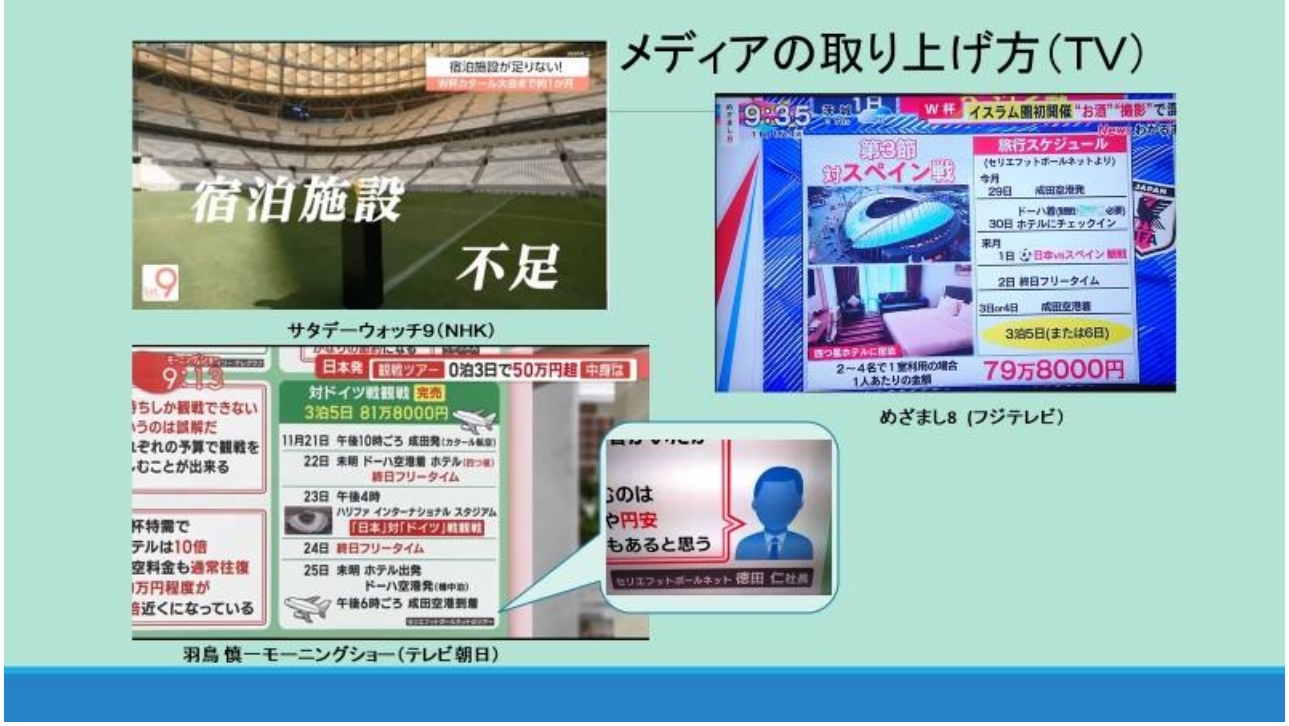
次に心配したのは、参加者が来るのかということ。これはすごく悩みました。2 年間ずっと観戦ツアーを休んでいて、もう弊社のことを忘れちゃった人もいるんじゃないかなと思ったぐらいです。しかしいつも通りワールドカップ前に仮登録をしてもらいました。これは旅行代金を算出する前にツアー日程を立てる・・・いつ出発していつ帰国し、何の試合を観るか・・・というコースを作り行きたいコースに登録してもらう、いわばアンケートのようなものです。ブラジル大会もロシア大会も 1,000 人以上の仮登録者があり、実際に 500 人ぐらい参加されました。今回のカタールも仮登録は 900 人ぐらいおられたのですが、実際に何人来てくれるのかはすごく不安でした。その中でツアーを企画することに踏み切りました。まあやらなきゃしょうがないというのもありましたが、もしできなかったらどうしようとか、いろんなこと考えながら、試行錯誤して作りました。

大会 1 か月前ぐらいには、ワールドカップのいろいろな情報が飛びかうようになり、メディアも取り上げ始めました。私も NHK サタデーウォッチ 9 と羽鳥さんのモーニングショー、めざまし 8、さらにもう一つ、大会が始まってからテレ東のワールドビジネスサテライトにも出たりしました。このこ

ろはメディアの方もよくわかってない状況で、いろんな情報を集めていたようでした。私の苦労が報道してもらえたのは嬉しかったです。

先ほどお話しした 0 泊 3 日の弾丸ツアーのお客さんが、朝着いた瞬間に共同通信の取材がありました。ドイツ戦の前のことです。試合に勝ったので、来た人はものすごく喜んでいました。

1 試合目と 3 試合目だけ弾丸で来た人もいるぐらいで、その人は運が良すぎたと思いましたね。



３）急激でピンポイントな円安の襲来

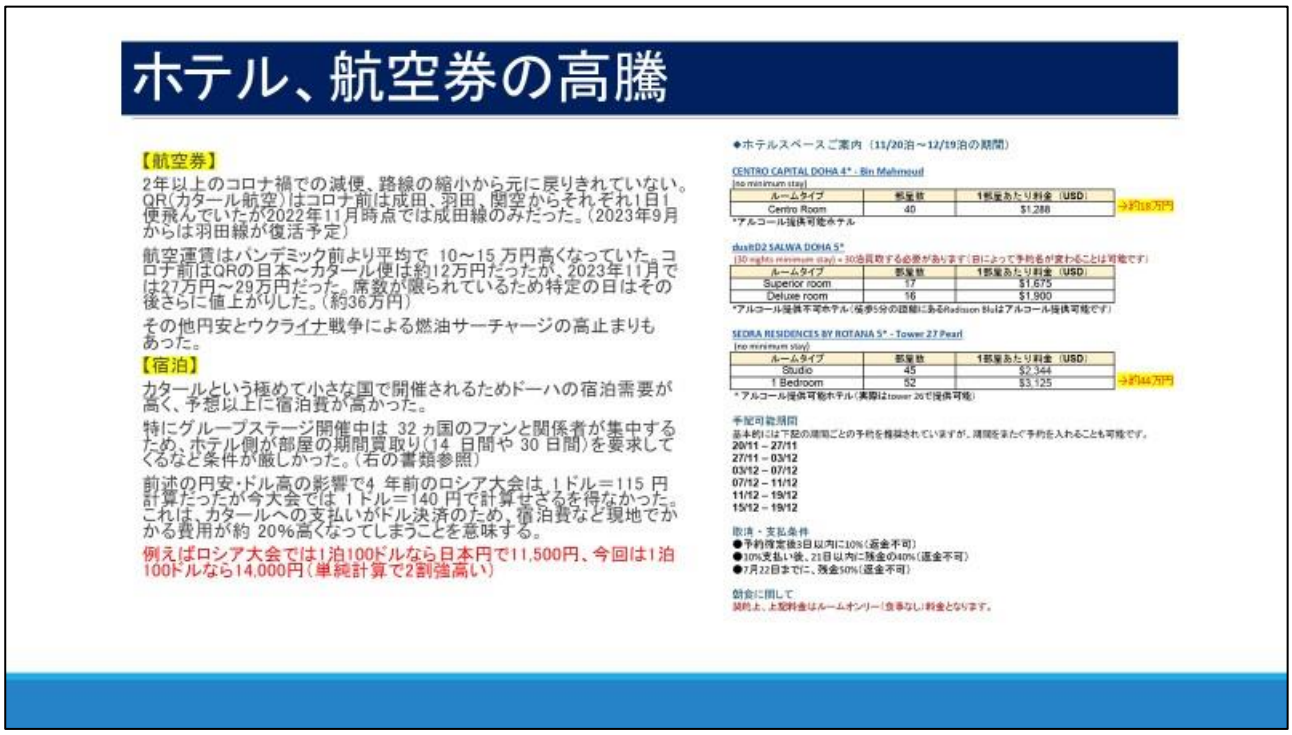
先ほども言いましたが、円高が痛かったです。ツアーを作った時は 140 円で計算していました。皆さんのホテル代や現地バス代を支払うのはだいたい 9～10 月なのですが、そのころが一番円安で、140 円で計算している費用を 150 円近くの時に払ってるので、収益を上げようとしたところに追い打ちをかけられたのが実際のところです。非常に痛手でした。

航空券は、コロナが始まって減便とか座席数の小さい機材への変更などで輸送力は減っていて、それが全く戻ってない状態でした。唯一直行便を出しているカタール航空も、パンデミック前は成田、羽田、関空から出ていましたが、このころは成田からしか飛ばないということで、競争原理が働かないからめちゃくちゃ高くなりました。 コロナ前は燃油込みで 12 万ぐらいだった日本～カタールの航

空運賃が、27 万とか 29 万に。弾丸ツアーの募集を始めてしばらくして座席数が埋まってくるといきなり 36 万ぐらいになったりして、航空会社もいい加減にしてくれよと思いながら手配したのを覚えています。

４）ホテル、航空券の高騰

あとホテル代ですね。ここにとある会社の見積もりがありますが、四つ星ホテルで一泊 1,288 リアル。日本円で 18 万円ぐらいです。高いホテルになると一泊 44 万円。高級なスイートルームだとそれぐらいでもわからなくはないですが、ツーリストホテルですからね。異様です。最低泊数にも縛られて予約しなきゃいけないので、1 泊だけとることもできないという条件でツアーをつくらねばなりませんでした。ということで、結局このホテルは使いませんでした。何とか三ツ星ホテル、四つ星ホテルでツアーができたということになります。




５）スマートフォンが苦手なお客様

さて、身に覚えのある方も多いと思いますが、今回スマホが苦手なお客様がいっぱいいらっしゃいました。日本人は普段からテキストを打つことに慣れてないので、その部分で欧米人とはハンデがすごくあるかもしれません。

必要だったアプリは FIFA のチケットアプリ、HAYYA（ハイヤ）カード、それと VJW＝ビジットジャパン WEB が必要でした。そういえば全く役にたたなかった「ココア」というアプリもありました

が、これらは必須のアプリでした。大会直前に My SOS と税関アプリの 2 つが VJW に統合されたので若干混乱もありました。ビザの代わりの HAYYA カードも観戦チケットも、全部モバイルになりました。ツアー代金が高いこともあったのですが、それよりもスマホが使えない、パソコンが使えないのでほかの人に迷惑をかけるのが嫌だということで行くのを断念した人が何人かいらっしゃいます。

毎回行っていたリピーターの方で、日本サッカー狂会会長の鈴木さんは 85 歳で、今回を逃したらやばいんじゃないのというぐらいの方です。一回申し込んだのですが、周りにいろいろ言われたんでしょう、今回泣く泣く断念されました。「アプリって何？」というところから始まって、「ダウンロードって何？」「インターネットに繋がるってどういうこと？」「Bluetooth ってなんだ？」というようなことから教えてあげなければならない。うちの会社に来てもらう方もかなりおられました。会社が携帯電話屋さんのようになって、私も詳しくなったぐらいです。ただ、地方にいる人はどうしようもない。そういう人には docomo や au のショップに行ってもらい、ショップの店員さんからうちに電話してもらって店員さん経由でセットしてもらうとこともやったりしました。

7 月の女子ワールドカップも同じ方式でやるということです。FIFA の大会はこれからずっとこの方式になるのではと思います。ですから皆さん対策を考えないといけないと思います。

女子ワールドカップはニュージーランドとオーストラリアで、ビザとは関連付けてないのですが、チケットに関しては同じだと思います。ただし 9 月のラグビーのワールドカップは、モバイルに転送されるみたいですが、結局プリントアウトして持っていけと書いてあるので、かなりクラシックな状態で大会を迎えるのではと思います。

## ３．ワールドカップ 2022 から 2026 へ

最後になりますが 2022 から 2026 へという話題です。今回は中東のドーハ、というかカタール 1 国で開催されたワールドカップですが、次回はカナダ、アメリカ、メキシコと 3 か国で開催。サッカーに対する情熱というか、成熟度も高く、観光もあってお酒も飲めるとことで、サッカーファンとしてはひと安心しているところです。

都市間の移動は発生しますが、それにも増していろんなところへ行けて、いろんな人に会えるというのは大きいと思います。

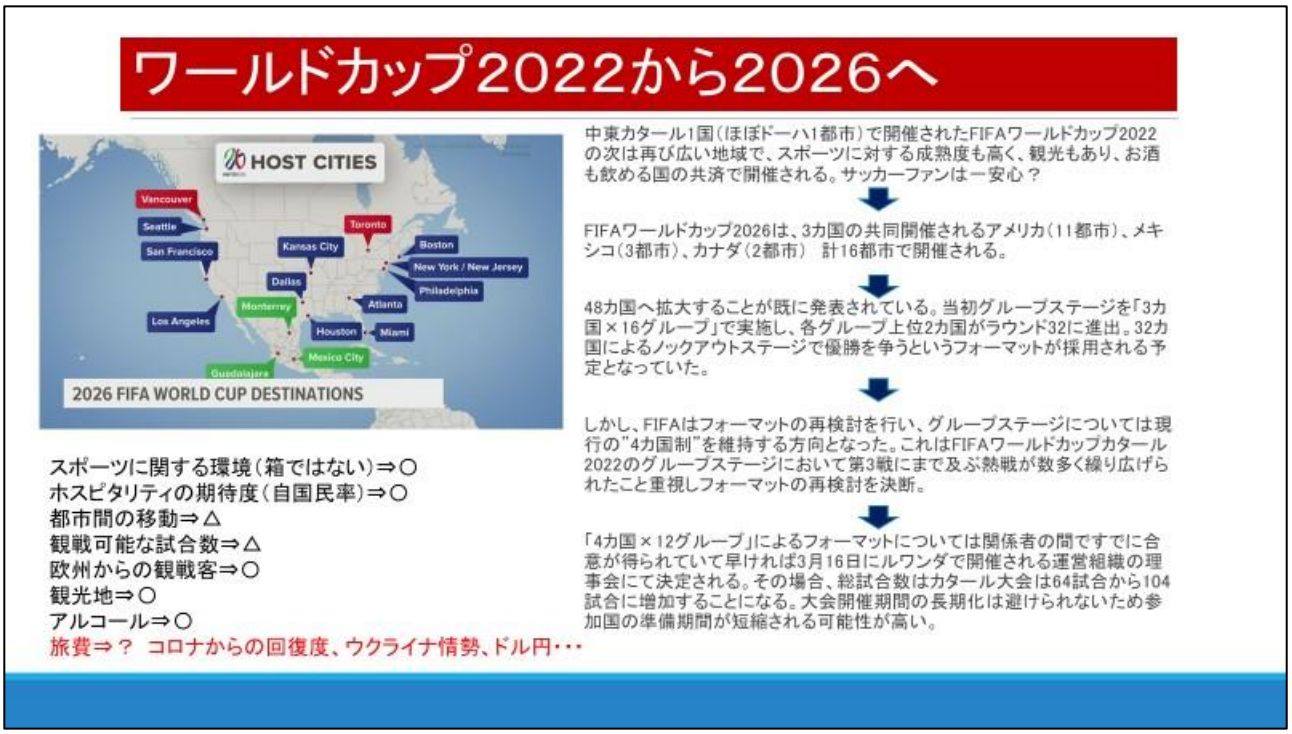
次回が 48 か国に拡大することはすでに発表されていましたが、当初 3 チームで 1 次リーグを行うという話だったので面白くねえなと思っていたら、2022 のカタールワールドカップ期間中に、グループステージは 4 チームの方が面白い試合がたくさん生まれると言うことで、期間中に考え直すことになったらしいです。4 チーム×12 グループのフォーマットになるのがほぼ確定のようです。3 月 16 日の FIFA 理事会で決まるのではと言われています。

次のワールドカップは、スポーツに関する環境ースタジアムがいいとかだけでなく、いろんなスポーツをやっている国なので、いろんな面での環境が良くなります。ホスピタリティの機会も、自国民が多いですから、歓迎する人も全然違ってくるのではないかと思っています。

都市間の移動は難しく、観戦可能な試合数も 1 日 1 試合しかできないでしょう。しかしヨーロッパからの観戦客は元に戻るだろうし、観光地もある。アルコールもある。

一番懸念される旅費がどうなるかですが、これはコロナからの回復度がどうなっているかによるでしょう。航空便も、競争原理が働かないと安くならないので、早く元に戻ってもらいたいと思います。また円安の部分もあるので、いろんな意味で、早くもとの状態まで戻れば嬉しいなと思っています。

このあたりで私の話は終わりにさせていただきたます。どうもありがとうございました。




中塚：徳田さん、ありがとうございました。めちゃくちゃ面白いですね。

本当はここでディスカッションできればいいのですが、今日は盛り沢山なのでこのまま続けます。皆さんからの感想や質問などは、チャット欄にどんどん書き込んでいただき、その都度、あるいは終わってからのオンライン飲み会で話ができればと思います。

次は、徳田さんのツアーに参加された田中さん、守屋さんからご報告いただきます。

## Ⅱ．観戦ツアー参加者の立場から①：田中俊也（三日市整形外科）

三日市整形外科の田中と言います。徳田さんのツアーに参加しました。すごい戦いがあることが非常によくわかりました。私自身のパーソナルな感想を含め、2022 年大会のことをお話します。

私は整形外科のドクターですが、実は昨年の春、自分に脊髄腫瘍があることが発覚し、知り合いの専門医の手術を受けました。腰にチタンでできているもので腰椎を保護する手術です。金属探知機は OK ですが、コルセットはするなと言われていました。カタールへ行くときは術後三ヶ月でちょっと心配なので、コルセットをつけて参加しました。ミイラ取りがミイラになったような感じです。骨がまだ癒合しないので、私はイスラム教徒と一緒で、アルコールは禁止されております。

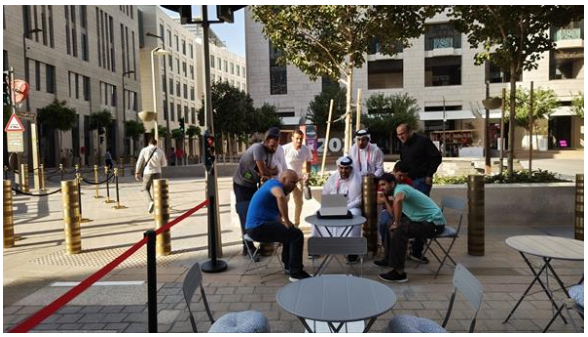
いきなりですけど、先ほどあった HAYYA カードと、ドイツ対日本の試合のチケットです。ブルートゥースでチケットが出てくるのも初めてでした。

比較的早く、僕はカタール大会に行きたいなあと思ったんです。どうやら地下鉄で全部見に行けて、ハシゴもできそうだということで。行ってびっくりしたのは、全部タダだったんです。先頭車両は、普段はロイヤルで特別料金を払うらしいのですが、二両目がファミリー向け、三両目以降は一般車両です。言ってみれば小田急のロマンスカーや名鉄の特急が地下鉄を走るようなものです。これで快適に行けました。初日に三路線を全部乗り尽くしたので、だいたいどこに何かあるのかは初日でわかりました。山手線内を一日で回るのと一緒です。

HAYYA カードでトラムもただです。ウーバーも使いましたしタクシーもそうですが、ガソリン産油国なので値段は 1/10。公共料金は無料です。

観光地はないって言いますが、カタールの国立美術館に行くと、イスラムの文化がわかります。

わざわざファンゾーンに行かなくても、ショッピングモールで、初日のアルゼンチン対サウジアラビアを観戦できました。ちょうど僕が見た時にメッシが PK



で 1-0 で勝っていたところです。アルゼンチンはこのまま勝つだろうと思って、街中のトラムに乗って市内観光していました。すると、パソコンで画面を食いいるように見ている人たちがいます。そろそろ試合が終わるはずだからといって。ここに潜り込んだら、サウジアラビアが 2 点取って勝ってるので、「ええっ?!」て感じで。すると彼らは私にハグしてきたんです。アジアの仲間として日本も応援してるから、と。カタールは本当に日本人に対して友好的で、アジアだとか北アフリカ、中近東なんかから出稼ぎの人ももちろん多いのですが、非ヨーロッパということで友達感覚で付き合います。ただ、彼らが本当にカタールの国民かどうかはわかりません。

試合会場でも痛感しましたが、ちょうどこれがメインのところです。真ん中のロイヤル席、みんな白装束ですよね。おそらくカタールの本当の国民、王族というかそういう人たちは、このスペシャルなところにいて、たぶん地下鉄にも乗らずにやってくるんだろうと。試合が始まるまで全く席が埋まっていなかったので、何するんだろう、白いものがあるなと思っていたら、人だったんですね。

今回のツアーで唯一お話できたのは、右側の写真にダウ船というのがあります。沖合いの島でランチを食べることができたのですが、そこを保有していた若手実業家のモハメドさん。彼がおそらく唯一、僕が会話ができたカタール国民です。ほかの王族たちは接することもほとんどありません。当然、ボランティアをやっている人たちは、各国から来たボランティアというかアルバイトでしょう。地下鉄の誘導員などは全部外国人でしたね。

どうしてもカタール航空に乗りたかったのでわがままを言わせてもらいました。2018 年からエミレーツ航空からカタール航空にスポンサーが変わっていたのはわかっていたので、それをぜひ使いたかったんです。腰のことがあるのでビジネスクラスで行きました。これは JAL のビジネスのご飯で、ちょっとお腹が空いたので、うどんが食べたいと言うと「うどんですかい」ってカップヌードルが出てきた時にはちょっと愕然としまし

た。同じビジネスクラスでこれでいいのかという感じですね。右側がカタール航空です。ちゃんとテーブルクロスまで敷いてくれて、LED のランプもあります。これ飛行機の中なんです。シートがそのままフルフラットになります。ワールドカップのスポンサーということで、デザートにまでロゴが入っています。ドーハ空港のビジネスラウンジはとにかくだだっ広く、中に滝が流れています。意外とテレビを見ることがなかったのですが、テレビの試合を、帰国を控えたりトランジットの人たちが鈴なりになって見てました。同じビジネスクラスで値段がどれくらい違うのかはわりませんが、僕は行きの成田からバンコクが JAL、バンコクからカタールはカタール航空でドーハまで。帰りは直行便ですが、JAL 対カタール航空は勝負にならないなという感じでした。

ショッピングモールも行きました。男子の正装のトーブはこういう紳士コーナーにあるんです。これがライーブとていう今回のマスコットです。トーブの頭の部分じゃないかなと僕は勝手に思っているのですが、どうなんでしょう。

イオンショッピングモールみたいなところには、車椅子ですとかオムツ変えられますというところだけでなく、お祈りの部屋がありました。トイレのサインですよね。男女別のお祈りの場所があります。一度間違えて入ってしまいましたが、お祈りのところです。ある時間帯になると皆さんこの中で、メッカに向かってお辞儀してました。ある時間になるとコーランが流れて来ます。

なぜか理髪店が大はやりで、たぶん 24 時間やってるようです。ひげを整えるのか、何をしているのかはわかりませんが、地下鉄の駅には必ずあります。ちなみに礼拝施設は地下鉄の各駅にあるし、ショッピングモールにも、どこにでもあります。教会じゃないところで、当たり前に、その時間になると日常的に礼拝します。これでイスラムの国に来たなあと実感しました。

地下鉄で会ったサウジアラビア人です。この後アルゼンチンを撃破したんです。学生なのかよくわかりませんが 20 代の若者です。中央下はどこかの試合会場の外で見た、たぶんカタール国民です。右はエジプト人です。エジプトは今回出ていませんが、クウェートにアルバイトに来ており、ワールドカップの試合を見に来たそうです。日本対ドイツの試合で、後ろの席にいた女の子です。ドイツのサポーターはドイツ人かと思っていたら、レ

バノン人でした。レバノンから来た一家で、ワールドカップを見に、ドイツを応援しに来たということです。けど、私の前の席のとある女性がドラえもんなどいろいろプレゼントしたら日本を応援してくれました。とにかくいろんな国の人たちが来てるんだという印象です。

先ほども出ていましたが、いつもは目立っているオランダ人の集団はいなかったですね。アルゼンチンは異様に多かったです。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11/21 | 成田 | 18：10 | JL717 | 23：25 | バンコク | 0：15 | QR837 4:40 | ドーハ |
| 11/22 | フランス | 4-1 | 豪州 | （D 組）@アル・ジャノブ 22：00 | KO | | | |
| 11/23 | ドイツ | 1-2 | 日本 | （E 組） | @ハリファー国際 16：00 | KO | | |
| | ベルギー | 2-0 | カナダ | （F 組） | @アフメド・ビンアリ 22：00 | KO | | |
| 11/24 | ブラジル | 2-0 | セルビア | （G 組） | @ルサイル 22：00 | KO | | |
| 11/25 | オランダ | 1-1 | エクアドル | （A 組第 2 節） | @ハリファーく国際 19：00 | KO | | |
| 11/26 | ドーハ | 2：00 | QR806 | 17：55 | 成田 | | | |

私は 5 日間で 6 試合観戦しました。これができるから、このメトロワールドカップに行きたかったというところがありました。ダブルで見たのが 11 月 23 日。日本がドイツに勝った日です。5〜6 人同じような考えの人がいて、地下鉄の駅でも会い、何とかベルギー対カナダも間に合いました。最後の日のオランダ対エクアドルは 19 時キックオフで、ギリギリの 21 時ぐらいまで現地にいて、地下鉄の中でウーバーに連絡を取ってホテルに来てもらい、預けておいたスーツケースをウーバーに乗せて空港に行く。するとその日のうちに成田にチェックイン。だからオランダ対エクアドルも、終わりまではいませんでしたが何とか見ることができました。

98 年のフランス、2002 年の日韓、2006 年のドイツ、2010 年南アフリカ、14 年のブラジルと前回のロシア大会を観戦しています。連日観戦はありましたが、ダブルで見るのは今回が初めてです。日程や会場が決まった段階で、1 日 2 試合観戦が絶対できるだろうと思いました。腰の手術があろうがコロナになろうが、戦争が起きようが絶対行くぞと。この日程だけは何とかしようとしました。

ちなみに普段ですと、初戦は見に行かずに第 3 戦から決勝ラウンドを観戦します。決勝ラウンドはノックアウト方式になるので雰囲気が変わって面白いのですが、そうするともう 12 月になってしまいます。それにもし仮に日本がドイツに負けたら、第 3 戦のスペイン戦は消化試合になります。フランスでそれは充分味わったので、それだけは避けたいという思いで、この日程に組んでもらいました。

先ほどの徳田さんの話にあったとおり、この 3 路線が山手線をちょっと足したぐらいなので、一日で全部乗り切れます。昼飯はどこかこの辺で食べて、夕飯はこっちの街で食べるというような感じです。メトロは HAYYA カードを見せればタダですから、充分使わせていただきました。

カタールはウーバーとかいろいろありましたけど、印象的だったのが、空港にあったランプベアです。これだけで 1 億円するらしいです。ある意味象徴的でした。お土産は確かに困りましたが、大会の T シャツが年々良くなっています。ロシア大会のはもうボロボロで着れませんが、ブラジル大会のは製品がよかったですね。今回のはたしかインドネシアかどこかで作ったと思いますが、比較的良くて、職員にも好評の T シャツです。

アベマ TV で決勝の前の様子を見ていたら、1991～92 年ぐらいに浜松で見かけたアルゼンチンの二人、エンリケとバチスタが出ていました。1986 年、マラドーナがいた前回のアルゼンチンの優勝メンバー二人が、浜松という地方都市にいたのです。バチスタはのちに北京オリンピックでアルゼンチン代表を率いてメッシと共に優勝しています。2010 年大会ではマラドーナ監督の補佐です。マラドーナが亡くなり、今回はバチスタがワールドカップを持ってプレゼンターみたいなことやっていました。彼も一応レジェンドなんだなあと思った次第です。

非常に個人的な感想ですが、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

**中塚：田中さん、ありがとうございました。 腰がそんな大変なことになっていたなんて知りませんでした。それでも行っちゃうわけですね。**

**田中：そうなんです。**

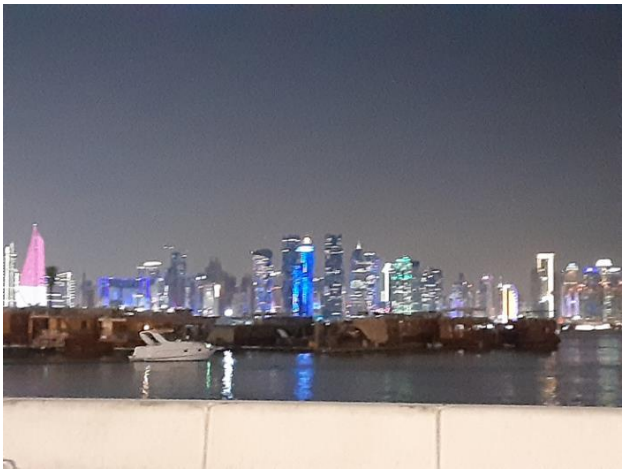
## Ⅲ．観戦ツアー参加者の立場から②：守屋俊秀（ｼﾆｱｻｯｶｰﾌﾟﾚｰﾔｰ）

スライドの最初からライーブ君です。田中さんがおっしゃっていた、男性の髪に乗っける白い布ということで決まりですね。

カタールがどこなのかを改めて確認します。ペルシャ湾の広さは本州とほぼ同じです。ドーハの広さは、面積から言うと川崎市とほぼ一緒です。8 か所のスタジアムをイメージで言うと、ドーハ市内に 3 か所あって、ドーハを取り巻くアル・ワクラとかラヤーンとか、要は川崎市内に 3 か所ある他、埼スタと味スタと横国と西ヶ丘と、ちょっと違いますけど千葉マリンみたいなイメージになります。google マップをみると緑は少しだけ。あとは全部砂漠です。サウジアラビアがあってペルシャ湾。向かいはイランです。

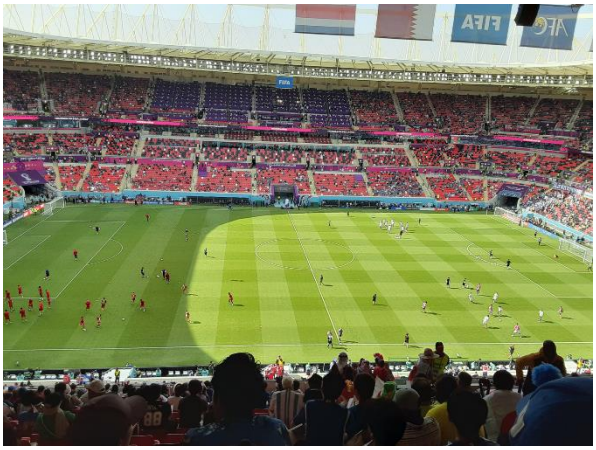
去年 3 月、三笘が 2 点入れたオーストラリア戦を見に行った時のお土産の絵葉書でサイズ感をみておきます。この白いのがオーストラリア大陸です。背景の赤いところはヨーロッパ。同じサイズでヨーロッパの上にオーストラリアを乗っけるとこういう感じです。オーストラリアって広いよね。ヨーロッパって狭いよね。なかなか面白かったんでおまけで載せてみました。これがイタリアです。イベリア半島。カスピ海…。

これは、先ほど田中さんの話にもあったダウ船のオプショナルツアーで、行った先から撮ったドーハの街です。地盤が固い国はいいですね。海っぺりに高層建築が建てられる。夜はこんな感じになります。ところが電車で 10 分走ると、もう何もない。緑なんかありません。東京は緑の多い所です、本当に。

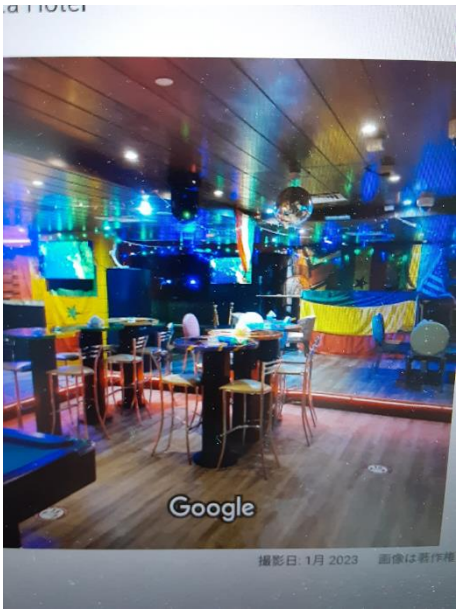


砂漠の中を通ってスタジアムに着くと、音楽流してお迎えしてくれるのですが、田中さんがおっしゃった通りカタール人ではありません。出稼ぎ、ないしはアルバイトみたいな感じですね。ちなみに　ドーハに住んでいるカタール国籍の人は 64 万人。一方、ドーハに住んでいるほかの国の国籍の人は 180 万人。3 倍近くの外国人がドーハに住んでいるということです。私たちも生粋のカタール人という人には、1〜2 人しか会ってません。あとはみんな外国籍の人。インド、モロッコが多かったですね。

スタジアムはこんな感じ。寒かったです。これは日本の試合ではありませんが、カテゴリー1 の席から撮った写真です。ロシア大会のカテ 1 チケットは西日をもろに受けるシチュエーションでした。今回 3 試合をカテ 1 で見ましたが、西日に悩まされることは一回もありませんでした。本当に助かりました。



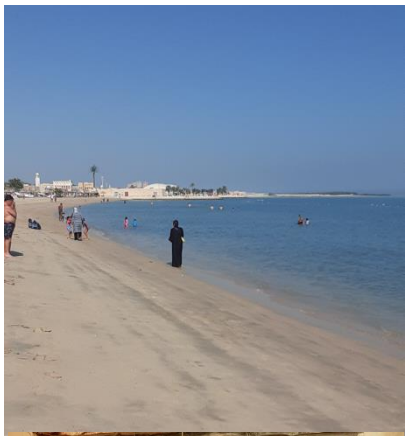
これがセリエさん厳選のホテルの外観です。まあまあのホテルでした。ホテルで面白かったのが、カードキーです。うちの部屋のカードキーは 2 回か 3 回使うともうワヤになってしまい、フロントに行って「使えなくなった、替えてくれ」って頼むんです。ところが




実はうちの部屋だけでなく、ほぼすべての部屋のカードキーが脆弱でした。メンテナンスできないのか。たぶんメンテナンスができる SE 系の人たちはみなワールドカップの会場に行って、先ほどのブルートゥースがどうのこうのとか、そっちのメンテナンスにかかりっきり。ホテルのカードキーなんか知ったことではないというか、手が回らないような状況だったと思います。ホテルのせいではないですけどね。

これはバーです。アフリカの国の国旗ですよね。ここは、たまたまかどうかわかりませんが、ブラックアフリカ系の人たちのたまり場になっていました。高いけど仕方ないから毎晩行っていましたが、ホテルのバーに入る時にパスポートのチェックがありました。カタール国籍の人はたぶん入れないと思います。パスポートのチェックをした上で、なおかつ、たまたまですが僕はモロッコの民族衣装を持っていたので、ふざけてそれを着て行ったらそれも脱げって言われました。やはりイスラム圏の民族衣装でバーに行ってはいかんということらしいです。その辺はちょっと厳しかったですね。

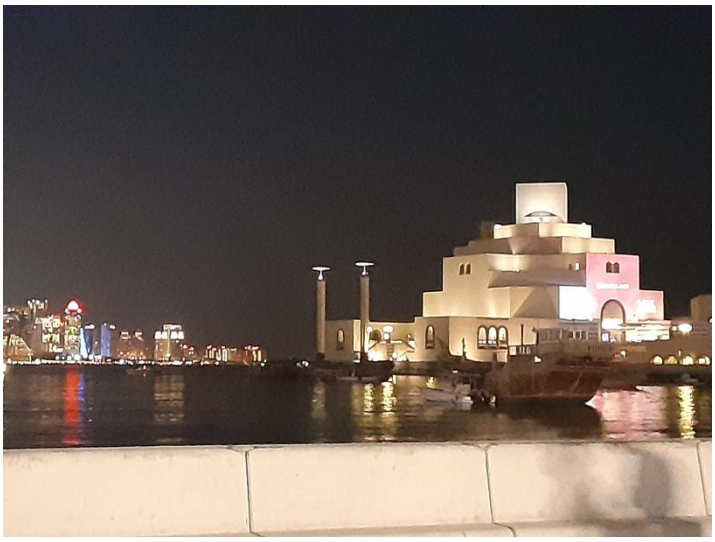
先ほど徳田さんも言ってましたが、ここで祝勝会だったか残念会だったかをした時に、まあ結構飲んだんですが、このバーを運営してるのはみんなブラックアフリカのレディたちで、ママさんがなんかげんなりした顔をしています。どうしたんだって聞いたら、「今日は Too　Much　Order だ。注文が多すぎる」と言う。注文が多くていいんじゃないのって思ったんですけど、彼女としてみればあまり働かなくていい。売り上げが減ろうが増えようが私の収入は変わらないから、だったら暇なほうがいいのにという感じでした。なかなか面白かったです。



ドーハから電車で 30 分ぐらい行った、海辺のリゾートです。日本で言えば湘南海岸みたいなところです。海はとてもきれいでした。ペルシャ湾です。ずっと行くとイランにあたります。

同じ海辺の、町の中に入ると、古い昔からの街並み、家並みが続いていて、風情があってよかったです。

このお姉さんが着てるのはサウジの衣装ですね。黒くて長くて暑いんじゃないかと思いますが、本人に言わせるととっても便利。日差しは遮ってくれるし風通しはいいし、中に何を着てようがわからないからとってもいいわということです。やはり民族衣装には民族衣装なりに理由があるということですね。



先ほど田中さんもおっしゃっていましたが、これがイスラムの美術館です。なかなか面白くて、僕らは 2 日続けて通いました。ただ、なかなか面白くて、と言っても飾っているものは大したものはありません。要はそれほど歴史がない。石油が出るまでは何もなかった国です。あるとすれば、ペルシャ湾で真珠が取れる。日本の御木本さんが養殖真珠を開発するまで、世界の真珠のおそらく一番の産地だったと思います。

試合が終わった後の夜、スーク・ワキーフ、スークはアラビア語、ペルシャ語で言うとバザールで市場という意味です。そこに行くと、お兄さんたちが見せ物をやっています。ハヤブサですね。ハヤブサは、この国の豊かな人のステータスシンボルだそうです。

ここからちょっとだけ真面目な話です。ドイツに勝った夜、日本人サポーターが大騒ぎで喜んでいます。ところがこの人は日本人じゃないですよね。この子も違います。

それからこれは何の試合の後かわかりませんが、同じようなスークでインタビューを受けているところです。後ろはモロッコの国旗です。先ほどモロッコ人がいっぱいいると話しましたが、実はこの写真、僕の個人的な感想として、今回のワールドカップで一番良かったところです。一つの街に 32 カ国のサポーターが一時に集まる。今までの大会だと、一つの街に集まるのは、試合をする 2 チームのサポーターがメインです。敵か味方しかいない。ところが今回は、一か所に全チームが集まるので、32 カ国プラスアルファのサポーターが一斉に集まっています。だから敵味方というよりもすごい祝祭感が高くて、これはこれで本当に楽しかったです。

　またガラッと話が変わりますが、カタールというところは、先ほどの砂漠の写真で見たように、緑はないところです。だから野菜も輸入します。これはたまたまカタール産ですが、スリランカ、南アフリカというように、食料自給はなかなかできないところでした。

　お土産の話になりますが、これはスークで売っていた乾燥ニンニクです。ただし Made in イランです。ペルシャ湾を渡ったイランから輸入した乾燥ニンニク。買って帰りました。「カタールにんにく　2022.11.30.」。横に卵があります。サイズ感わかりますか。でかいんですよ、にんにくが。でもこれが一番のお土産でした。イランに行った時も毎回これを買って帰ってきました。

　ライーブ君ですね。これもとってもいいお土産になって、かみさんのリュックについてます。これはかみさんの指です。サイズ感。日本でも、特に女子の間ではかわいいという評判を受けています。

　日本に帰ってきてから衛星放送で試合を見てても、なかなかこのライーブが出てこなかったんですが、ABEMA では結構出ていたらしいですね。向こうではもう飛び回ってました。

　以上です。ありがとうございました。

**中塚：どうもありがとうございます。チャット欄に田中さんが書かれてますが、祝祭感、いい表現ですねと。一つの都市に 32 カ国のサポーターというのはちょっとほかではないですよね。**

**　ライブ編でもうお一方。笹原さんです。笹原さんは 98 年のフランス大会からずっと「参戦」されていますが、ツアーではなく独自のコースで「参戦」されております。ではお願いします。**

# Ⅳ．独自ツアーでの現地観戦：笹原勉

今日は台湾から参戦している笹原です。30 分も話しそうな資料を作っちゃったので、端折りながら進めます。

まず今回の感想を。まず「歴史を作った」。どういう意味かはあとでお話します。それから「日本を応援する多くの外国人」がいたという感覚がありました。あと皆さんおっしゃいますが「カタール人とのふれあい希薄」。それから「日数の割に金がかかった」という印象です。

今までのワールドカップ観戦で、フランス大会はツアーでしたがそれ以外は自分でチケットを買っています。抽選の当たりはずれによってみた試合数が違います。

赤枠で囲ったのは、今までに見た日本戦です。全て負けた試合です。私が日本戦を見るとベスト 16 に上がれないというジンクスがありました。

**過去のワールドカップ観戦**

**1998フランス大会(7日間?) 2試合観戦**
チケット騒動
日本 vs クロアチア、日本 vs ジャマイカ

**2002日韓大会(9日間?) 4試合観戦**
大分VST (BEL-TUN, MEX-ITA, SEN-SWE)、接待チケット(GER-KSA)

**2006ドイツ大会(17日間) 3試合観戦**
7試合応募→2試合当選
ESP-KSA, SUI-UKR + 譲り受けた日本vsブラジル

**2010南アフリカ大会(17日間) 4試合観戦**
7試合応募→6試合当選→2試合売却
NED-SVK, KOR-URU, ESP-POR, ARG-GER

**2014ブラジル大会(12日間) 2試合観戦**
9試合応募→3試合当選→2試合RESALE (MEX-CRO, SUI-HON)
GER-GHA＋譲り受けた日本vsコロンビア

**2018ロシア大会(16日間) 5試合観戦**
7試合応募→全試合当選→2試合RESALE(GER-KOR, FRA-URU)
FRA-ARG(16), SPA-RUS(16), COL-ENG(16), FRA-BEL(4), ENG-CRO(4)

**ジンクス**
- 日本戦見ると敗戦
- 日本戦見ない大会はR16進出

観戦チケットは FIFA のサイトで買います。どの大会も同じような感じで、開幕 1 年前頃に第 1 回の販売があります。その時は組み合わせ抽選の前なので、どこの国の試合かわからない状況で応募します。その抽選が終わり、残っている割り当てチケットの早い者勝ちステージがあり、それから組み合わせ抽選。今度はどこの国と戦うかがわかった段階で、また抽選と早い者勝ちとなります。最後はチケットが残っている試合ごとに、早い者勝ちで買えるということです。

| | | |
|---|---|---|
| 第1回販売 | 2022.01.19～2.8 | 抽選 |
| | 2022.3.8 | 結果発表 |
| | 2022.3.23～3.29 | 早い者勝ち |
| W杯組み合わせ抽選 | 2022.04.05 | |
| 第2回販売 | 2022.04.05～04.28 | 抽選 |
| | 2022.05.31 | 結果発表 |
| | 2022.07.05～08.16 | 早い者勝ち |
| 最終販売 | 2022.09.28～ | 早い者勝ち |

実は私、今までは全部第 1 回の販売で買っていました。今回も第 1 回の販売で 5 試合に応募しています。クオーターファイナルからという、ちょっと突っ込んだ買い方をしています。日程上の理由があったのでそういう買い方をしました。すると、何と全試合落選。初めての経験でした。その時はメールが FIFA から来るんです。メールのタイトルは”Ticket application uUnsuccessful”。残

- 第1回販売

5試合応募(2/2)

| | |
|---|---|
| Q Final | 12/9 E1/F2-G1/H2 (CRO-BRA)、12/10 E2/F1-G2/H1 (MAR-POR) |
| S Final | 12/13 (ARG-CRO)、12/14 (FRA-MAR) |
| Final | 12/18 (ARG-FRA) |

FIFA WORLD CUP Qatar2022

Dear customer,

Thank you for your interest in FIFA World Cup Qatar 2022™ tickets. We regret to inform you that, due to the high demand for tickets during the random selection draw sales period of Sales Phase (1), your ticket application was unsuccessful. As a result, no tickets have been allocated to you.

We hope that this does not deter you from applying for tickets in upcoming sales periods and securing your seat at the FIFA World Cup Qatar 2022!

Next opportunity to purchase tickets

念ながらあなたのチケットは全部外れましたというメールが届きました。

しょうがないので第 2 回販売で、今度は日程の制限を外して応募しました。応募したのは、ファーストステージでの日本戦 2 試合と、ウルグアイ対ポルトガル、ポーランド対アルゼンチン、それからラウンド 16 と準決勝です。カッコ内は、結果的にこのチームが戦ったということです。抽選の結果 3 試合当選。日本対プレーオフの勝者、つまりコスタリカですね。それからウルグアイとポルトガル、日本対スペイン、というのが当たりました。この段階でいろんな人に、今度見に行くんだけど、ジンクスによると俺が現地で見ると日本が勝ったことはないと言うと、ほとんどの人が「大丈夫。今回は笹原が見ようが見まいが勝てないし、上はいけないから」と、そういうことを言っていました。

- 第2回販売

9試合応募(4/7)

| | |
|---|---|
| 1st Stage | 11/27 JPN-プレーオフ勝者、11/28 URU-POR、11/30 POL-ARG、12/1 JPN-SPA |
| Round 16 | 12/4 D1-C2 (FRA-POR)、12/5 G1-H2 (BRA-KOR)、12/6 F1-E2 (MAR-SPA)、 |
| Q Final | 12/9 E1/F2-G1/H2 (CRO-BRA)、12/10 E2/F1-G2/H1 (MAR-POR) |

## 観戦チケット･･･笹原の購入(4)

Ticket application partially successful – FIFA World Cup Qatar 2022™

FIFA Ticketing Team <noreply@tickets.fifa.org>
To 自分

Dear customer,

Congratulations! The FIFA Ticketing Centre is delighted to inform you that the FIFA World Cup Qatar 2022™ tickets shown in the **Ticket Application Summary** below have been allocated to you based on the ticket application that you submitted during the random selection draw sales period of Sales Phase (2).

Please note that you have only been allocated some of the tickets that you originally requested. This means that, due to the high demand for tickets in this sales period, at least some of the ticket products and/or categories for which you applied were oversubscribed and were not subsequently allocated to you pursuant to a random selection draw.

**PLEASE PAY FOR YOUR TICKETS FROM 31 MAY 2022 (11:00 CEST/12:00 (MIDDAY) DOHA TIME).**

当選時のメールの題名はパーシャリーサクセスフルです Congratulations、うんぬんかんぬんというようなメールを受け取って、それで支払いに進む、というのがチケットの購入です。

ちなみにこれは観戦チケットの値段です。為替レートの問題がありますが、ブラジル大会、ロシア大会、今回と、大きく変わってはいません。高いチケットは、今回どんどん値上がりしていますが、安いチケット、例えばグループステージのカテゴリー2 や 3 は前回大会よりも安くなっています。私はカテゴリー1 ばかりで、今回はグループステージしか当たってないので、1 試合 216 ドル、合計約 18 万円が、家内の分と合わせたチケット代でした。

## 観戦チケット･･･販売価格

単位：US$

| 試合 | カテゴリー1 | カテゴリー2 | カテゴリー3 |
|---|---|---|---|
| 開幕戦 | 608 [550] (495) | 432 [390] (330) | 297 [220] (220) |
| グループ･ステージ | 216 [210] (175) | 162 [165] (135) | 68 [105] (90) |
| R-16 | 270 [245] (220) | 203 [185] (165) | 95 [115] (110) |
| 準々決勝 | 419 [365] (330) | 284 [255] (220) | 203 [175] (165) |
| 準決勝 | 940 [750] (660) | 648 [480] (440) | 351 [285] (275) |
| 3位決定戦 | 419 [365] (330) | 217 [255] (220) | 203 [175] (165) |
| 決勝戦 | 1,580 [1,100] (990) | 986 [710] (660) | 584 [455] (440) |

US$ 0.27/QR、[　　]：2018ロシア大会、(　　)：2014ブラジル大会

フライトも、当然自分で買うんですけど、先ほど田中さんからお話があったように、カタール航空のビジネスクラスは世界最高だというのでそれに乗りたいなと。それを往復で買うと 60 万円ぐらいかかります。一方、ビジネスで一番安いのはフィリピン航空で、行き

## フライトチケット：乗り継ぎ不安。解消は出発3日前

- AGODAで2022.8.27購入
- 世界最高級のカタール航空＋最安のフィリピン航空

往路 (11/26発･同日着)
~~PR891~~CI701　　PR684
~~TPE 09:45 - 12:05 MNL 13:00 - 18:35 DOH~~
~~TPE 10:10 - 12:40 MNL 13:00 - 18:35 DOH(10/20)~~
~~TPE 10:10 - 12:40 MNL 13:20 - 18:35 DOH (10/20)~~
TPE 07:35 - 09:40 MNL 13:20 - 18:35 DOH (11/23)
220分

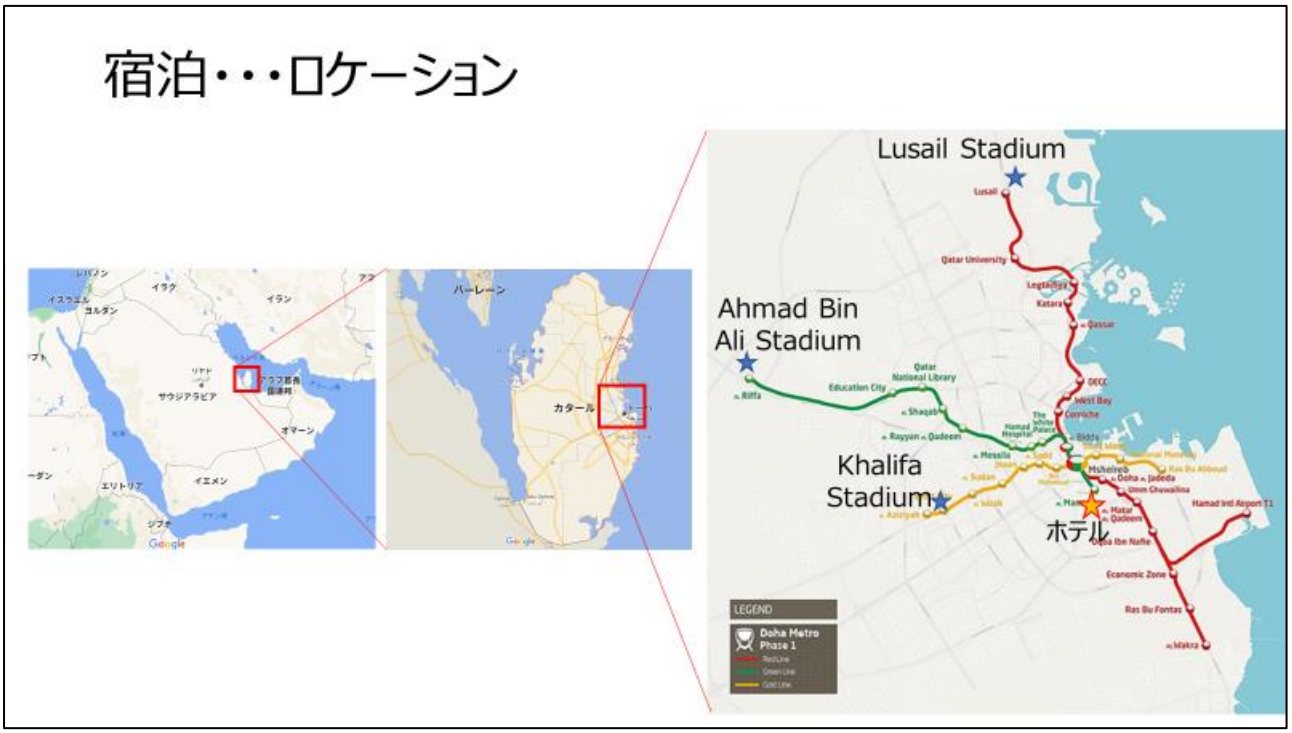
復路 (12/02発･翌日着)
QR830　　BR062
~~DOH 20:10 - 06:40 BKK 12:00 - 16:30 TPE~~
DOH 19:45 - 06:05 BKK 12:00 - 16:30 TPE(9/13)

はフィリピン航空のマニラ経由、帰りはカタール航空というのを 8 月 27 日に購入しました。このフライトのチケットが最後まですったもんだして、これが一番大変でした。何度も何度も変更になって、12 月 23 日、3 日前にやっとフライトが固まりました。興味のある方がいらしたらあとで詳しくご説明します。

帰りのフライトにはこんな人も乗っていました。佐藤寿人です。僕の 2、3 席後ろにいて、ボーディングブリッジを歩いていたら隣にいたので思わず声をかけて写真を撮ったということです。

宿泊ですが、これは 10 月に予約しています。条件として、うちの会社、中東各地に事務所があってドーハにもあります。ドーハの事務所に宿を取ってくれと言ったらなんか取れないんです。しょうがないから FIFA のウェブサイトで予約しましたが、コンテナとかファンビレッジみたいなのは勘弁してくれと思っていました。それとスタジアムへの交通が便利だというところで選びました。

徳田さんの話にもありましたが、ホテルは高すぎて眼中になかったですね。結局取ったのが、このマンション、というかアパートです。結果的に問題なく過ごせました。守屋さんの泊まったホテルを見たら、アル・マンスーラと書いてありましたので、近くだったのかなと思います。




皆さん出しているのと同じ地図ですが、いろんな線が交わるところがムシェリブという駅で、私のホテルはその一つ隣のアル・マンスーラというところです。緑の線でずっとここまで行けるかと思ったのですが、必ずムシェリブで乗り換えないといけないところでした。ただ、非常に便利でしたね。

ホテルの近くはこんな感じです。左の上のところは同じようなアパートです。路地裏に行くと上中・上右のような感じで、アラビア風の模様も見られます。左下が地下鉄アル・マンスーラ駅です。下中・下右は駅前の大通り。ここはどうもレストランの様子を見ると、インド人とかフィリピン人労働者の街。カタール人は全くいませんでした。

試合に行きます。１試合目は日本対コスタリカ戦。一番上の席ですね。グラウンドを見ると左下の写真のようで、なかなか見易かったです。何と私の二つぐらい後ろに徳田さんが座っていました。

試合が終わって呆然として帰れない日本人と、大喜びしているコスタリカの人たちです。大会前は「大丈夫だよ、今回はどうせ必ず負けるから」とか言っていた日本の人たちですが、ドイツ戦に勝った後で、私が見たコスタリカ戦で日本が負けたので、手のひらを返したように「何てことをしてくれたんだ」とか「お前は次の試合は見るな」とか言われました。

先ほどの会場は 5 万人収容、今度はルサイルというところで、ウルグアイ対ポルトガルを見ました。ここは 8 万人収容のすごくでかいスタジアムで、そのまた一番上の方の席でした。本当に一番上で、そこから見下ろしたの右下の大きい写真です。スタジアムの上の方に旗がかかっているのがテレビで見られますが、

私瀬の席は旗よりもさらに上でした。この試合は、選手が豆粒のようで、誰が何をやっているのかほとんどわからないところで試合を見てました。

現地で見ると雰囲気があって面白いのですが、リプレイがないのでいま一つ試合の様子は覚えてないですね。この試合も、ウルグアイが負けたのは覚えてるけど、何対何だったかなという感じです。

最後は日本対スペインの試合です。ここも上の方でしたけど、45,000 人収容とそれほど大きくはなかったので見やすかったです。この時はハーフウェイラインに近いところで、よく見えました。左側のゴールが、全得点が入った方です。

日本の 1 点目はよく見てましたが、2 点目の時、皆さん覚えてますよね、堂安のシュートが左に外れそうになって、前田がスライディングで滑り込んだところも、これは絶対間に合わないというのが見てわかったので、私はうわーって頭を抱えて天を仰いだんです。そしたら周囲が騒いでいて「おー」という形になってしまった。というわけで実は私、三笘の 1 ミリとか、田中碧のゴールを見ていません。せっかく行ったのにひどい話ですが、まあ勝ってよかった、初めて日本が勝つ試合を見て歴史を作った、というのがスペイン戦でした。

これが出会った人々です。日本人じゃないのに日本のユニフォームを着ている人がとても多かったですね。

左上はモロッコかチュニジアのどちらかですけどファンビレッジで会った人で、南葛のユニフォームを着ているくせに漢字の意味がわからないと言っていました。キャプテン翼のチームと教えたら喜んでました。

真ん中の上の人はクウェート人です。時々「必勝」の漢字を逆さまに鉢巻してる人がいましたが、その人達には逐一、逆さまですよと教えてました。それぐらい「必勝」の鉢巻をしている外国人が多かったですね。

下の人たちはスペインのユニフォームを着てますけど、この中でスペインは一人だけでしたね。左の日本のアウェー・ユニフォームを着てる人は確かインド人ですね。

右上はクロアチア戦じゃなくてスペイン戦ですが、クロアチアの方が、この試合は日本を応援するんだ、なんて言ってました。右のインドの方は、なぜここに写ってるのがよくわかんない人です。右下の人はフィリピン人。

この審判おじさんは、日本のテレビでも紹介された方です。審判の格好してる非常に珍しい方ですが、実はこのおじさんは、私 2010 年の南アフリカ大会でも見ているんです。南アの時はすぐ目の前、すごい近くにいたんですが、試合 中に何かあると立ち上がってイエローカードやレッドカードを観客席に向かって出すので大うけでした。また会いたいねって家内ともずっと言っていたら、今回 12 年ぶりの再会です。2010 年に一緒に撮った写真があったので見てみると、二人ともその頃は若いなという感想です。

出会った人々：審判おじさん

いくらかかったのを毎回紹介しています。今回ロシアやブラジルと比べてお金が掛かってるところはやはり宿泊ですね。8 日間なのに、16 日いたロシアの倍ぐらい高い。観戦チケットは、今回がグループステージだけだったので安い一方、ロシアはグループステージではなく、準決勝 2 試合を見たりしたので高かった。

いくらかかった？

| | 2022 カタール (8日間) | 2018 ロシア (16日間) | 2014 ブラジル (12日間) |
|---|---|---|---|
| 航空券 | 95万円 | 68万円 | 172万円 |
| 宿泊 | 37万円 | 21万円 | 16万円 |
| 観戦チケット | 18万円 | 53万円 | 8万円 |
| 国内移動 | | 2万円 | 38万円 |
| その他(食事･土産等) | 18万円 | 17万円 | 13万円 |
| 合計 | 168万円 | 160万円 | 246万円 |

徳田さんが国内移動の話をされましたが、ブラジルの時は国内移動費だけで 38 万円もかかったんですが、今回は 0。

お土産についてです。皆さんはお土産がないと言いますが、私は結構お土産にお金がかかりました。これはスークで絨毯を買ったからです。あとお土産は、スタジアムショップにはあまりいいものがなかったんですけど、たまたまハガキを出しに中央郵便局に行ったら、そこで売ってるお土産がなかなか良くて、こんなロゴ入り保冷水筒とかいろんなものが売っていました。

あとはちょっと観光の写真を。国立博物館や、皆さん行かれていたイスラム博物館。あとスークですね。先ほど守屋さんのところで出たハヤブサですけど、ハヤブサを腕に載せた人が歩いてたんです

ね。声をかけてみたら、市場の中にハヤブサを売っている店が何軒かあると。他に、地図を見ると馬とか駱駝って書いてあって、そんなもん売っているのかなと思ったら、本当に売っていたんですね。

観光：国立博物館

観光：イスラム博物館

観光：スーク・ワキーフ

次は食べ物の話です。

宿の周辺で食べようとするとカタール料理ではなくて、ほとんどインド料理とかフィリピン料理とか、そんなのばっかり。まあ、このカラックっていうミルクティーとか、こんな朝飯食ってると、これとっても安いですね。100、200 円ぐらいです。ケバブはトルコのチキンでした。

食べ物：宿の周辺

カタール料理は、最初に食べたのがさっきの国立博物館の中にあった高級レストランで、後から調べたらアラン・デュカスがやっているレストランで、二人で 14,000 円ぐらいかかるんです。その日の朝食は 180 円ぐらいで食べたので、この差は何だという感じです。ほかのカタール料理としては、まあこんなものを楽しみました。クナーファというデザートは、美味しくて家内のお気に入りですね。中下と右上の写真はちょっとローカルっぽいカタール料理屋さんで食べておいしかったものです。ただ、この店はラムチョップがうまいとの評判で、羊好きの我々はそれを目当てに行ったんですけど、硬くて硬くてちょっと食えないんで、ここに写真を載せるのはやめました。

皆さんからスペイン戦は見るなとか言われたんで、これはなんとかしなきゃと工夫したのが料理です。実は台北で、ドイツ戦を見る前にドイツ料理を食って、ドイツワインを飲んで見たら勝ったんです。コスタリカ戦は、コスタリカ料理なるものがなかったので、それを食わずに見たら負けてしまった。なので第 2 のジンクスを作ろう、スペインを食ってやれと、スペイン料理を探して、ハイアット・ホテルのレストランでで、昼間に生ハムとパエリアを食ってサングリアを飲み、試合に臨みました。残念ながら生ハムは、豚肉が食えないんで牛肉でしたが、霊験あらたかでスペインに勝つ事ができたということです。私の発表は大体そんなところです。

中塚：どうもありがとうございます。ツアーとはまた違った独特の、充実のワールドカップを楽しんでおられるなと思います。ここまでがライブ編です。

チャット欄ではさまざまなやり取りがありますが、ここでお一人だけ無茶ぶりで鈴木崇正さん。カタールと言えば 1993 年のドーハなんですが、崇正さんの自己紹介にも「93 年ドーハ組」というコメントがありました。それとの関連で、ここまでの感想、あるいは気づいたことなどコメントいただければと思います。

鈴木：本当に無茶振りですね。質問してらっしゃる方がたくさんおられるのにすみません。コスタリカ戦に負けた真の理由が、やはり笹原さんにあったというのが今夜の一番の収穫です(笑)。

僕は、徳田さんの話をシラフでは聞かないことにしてるので、最初からビール飲んじゃってまして、ろくなことは言えないんですが、93 年当時のカタールは、いま僕がテレビやインターネットを通じて見るのとは別の国だと思います。断片的な印象で言うと、タクシーで数分ほど郊外に出ると砂漠でした。まったく何にもない土地。トヨタが事務所を建設中で、その鉄骨がむき出しになってるような風景でした。昼間は街中に誰もいない。当然です。昼間は灼熱で人がいない。夜になると街中に人が出てくるという、昼夜がまったく違う街のようでした。人口は 50 万だったと思います。スーパーマーケットで売られている食料品はほぼ輸入品でした。

観戦ツアーの参加者で、スポーツクラブを借りて、夜にサッカー大会をやりました。はっきり言って、こんな環境でサッカーの試合をやるなんて馬鹿げてると思いました。30 年前ですから、僕はまだ相当動けた方なんですが、数分走っただけで、あまりの高温と湿気でものすごく息苦しかったです。日本でサッカーをやるのとまったく違うと思いました。僕のレベルは草サッカーですけれど、アジア最終予選のレベルの試合を、みなさんも記憶してらっしゃるあの４試合を戦うなんて、馬鹿げてるなと思えるくらい過酷な土地だったというのが最大の印象です。そんなところですみません、ありがとうございます。

中塚：ありがとうございます。めちゃぶりにも関わらず貴重な情報をいただきました。確かあれは 93 年の 10 月末ですよね。

鈴木：はい。僕が見たのは最後の 2 試合、韓国戦とイラク戦です。10 月 26、28 日の辺ですね。

中塚：ではここから、国内組の話をしたいと思います。おそらく皆さんそれぞれのワールドカップがあると思います。「俺はあの時こうだったよ」というのを出し合えたら面白いのですが、それぞれが勝手にしゃべりだすとぐちゃぐちゃになるので、まず私の方から、国内ではざっとどんなワールドカップだったのかを話させてください。スライドを用いて紹介します。

## Ⅴ．メディアで楽しむ「国内組」のワールドカップ：中塚義実

1998 年のフランスから 2010 年の南アフリカまで現地観戦していましたが、2014、2018 は諸事情で行くことが叶いませんでした。今回は行きたいなあと思っていたのですが 11 月から 3 月末まで 2 年生の担任を急遽持つことになって断念。ワールドカップはテレビ観戦となりました。

テレビでどうやって楽しむかを考えましたが、今回は放送権の関係か、地上波テレビはあまりやってくれず、ABEMA に加入しないとダメだということがわかりました。こういうのが得意でない私はわかってる人に聞くしかないと思っていたところ、ちょうど 11 月 13 日にサロン 2002 の公開シンポジウムが千曲市であり、スキルを持った本郷さんにサポートしていただくことができました。11 月 13 日に ABEMA に無事登録でき、臨戦態勢を整えワールドカップに臨みました。

開幕戦の 11 月 20 日（日）は、公開シンポジウム@千曲にスタッフとして参加してくれた筑波大学附属高校蹴球部 OB の常木さんの結婚披露パーティがありました。新宿区内の洋館、旧小笠原伯爵邸に 150 人が集まる対面パーティはものすごく久しぶりです。主賓挨拶では 20 年前の 2002 年 FIFA ワールドカップのことを話しました。そのころの高校生がこの日の主役です。日本の第 3 戦のチュニジア戦は 6 月中旬、前期中間テストの最終日。15：40 下校でしたが、高校生は「みんなで見たい」と学校に働きかけ、下校後の居残りを認めてもらい、物理実験室に 200 人も集まって盛り上がりました。高校生自身が動いてパブリックビューイングを楽しんだことはいまでも覚えています。悪さもしましたが、勢いがありましたね。ちなみに乾杯のご発声は陸上競技の為末さんでした。

そんなめでたい会があって遅くまで飲んでいたので、開幕戦のカタール vs エクアドルは見ていません。「この試合はええわ」という感じです。翌日 22 時からのイラン vs イングランドから、自宅テレビでのワールドカップが始まりました。「これは」というゲームに限定してみていました。

何と言っても日本 vs ドイツですよね。前大会で 1 次リーグ敗退のドイツが、2 大会続けて失敗するわけがありません。日本には勝ってほしかったし熱烈応援はしましたが、半信半疑でした。大逆転勝利はうれしい驚きです。国内も大盛り上がりになったところで、修学旅行の引率です。

第 2 戦の 11 月 27 日が沖縄修学旅行の初日です。感染対策を十分施した中での修学旅行ですが、羽田空港で密になって集合しています。那覇に着いてクラスごとにバス移動。昼食会場では琉球舞踊を楽しみ、観光地として整備された万座毛を歩き、海中展望台とグラスボートで熱帯魚をみてビーチで遊ぶ、久々の沖縄修学旅行です。ホテルにたどり着いたのは 11 月 27 日の 5 時ぐらいでしょうか。キックオフは 19 時です。

事前準備の時から不思議でしょうがなかったのは、19 時から夕食なんです。ところが修学旅行のしおりにもマニュアルにも、ワールドカップのことが何も書かれていない！　高校生はワールドカップを見ないのだろうか。大事なコスタリカ戦があるのに、「メシ食ってる場合ちゃうぞ…」。そんなふうに思っていたのですが、彼らはそういうことをあまり考えないようです。ただ、ドイツに勝って高校生たちのモチベーションもかなり上がっていたのは確かです。

私は 19 時の時点で、ノートパソコン持参で食事会場へ。ABEMA で日本 vs コスタリカを見ながらの食事です。生徒たちがグループに分かれて食事する会場ですが、彼らもやはり気になっているようです。だけど基本的には、コロナ禍なので黙食です。修学旅行なのにかわいそうですね。私は ABEMA を見ながら、「おー」とか言いながら食事しているので、生徒たちもチラチラ画面を覗きに来て、「先生、どうなってますか」とか言いながら過ごしたのがコスタリカ戦です。負けちゃいましたよね。とても残念でした。

3 泊 4 日の修学旅行の翌日は代休です。12 月 1 日。この日は以前から、兵庫県の神戸高塚高校で特別授業をすることになっており、朝から神戸へ向かいました。全国高体連研究部で毎年会っている鈴木義章さんが企画してくれたもので、彼もこの日は修学旅行の代休でした。

二コマの授業後、三宮へ移動し、19 時から兵庫県サッカー協会（HFA）の指導者養成講習会です。鈴木さんは HFA の指導者養成講習会の仕事もされており、せっかくなので話をしてくれと頼まれたものです。写真の右が鈴木さん、左は籔本さん。そもに筑波大学蹴球部の後輩です。終わってから何名かで街へ繰り出し、寝て起きたらスペイン戦というタイミングです。

スペイン戦は日本時間で朝の 4 時です。その日（12/2）は 2 限目に授業があるので、朝 6 時の新幹線始発に乗って戻らなくてはいけません。そのため新大阪直結のホテルを確保し、ひと眠りして早起きして、地上波観戦です。ちょっと怖い顔していますが、日本戦の時は、代表ユニフォームを着て応援です。途中からは

ABEMA と両方見ながら。後半、日本が逆転したところまでこのホテルでみて、ノートパソコンを持って新幹線に乗り込み、6 時始発ですからその電車の車内で、勝利の瞬間を迎えました。それがスペイン戦です。びっくりしましたし、これ以上ないぐらいの喜びを感じながら帰路に向かったものです。

もう一つだけ。10 月 7 日に孫が生まれ、11 月 6 日のお宮参りで初抱っこしました。ちょうどその前後、ワールドカップに向けて態勢整えなあかんと思って両家全員、もちろん赤ん坊も含めて日本代表ユニフォームを揃えました。一番小さいサイズでも身長 100cm 用らしいんですが、まだ一ヵ月なので身長 50cm です。日本代表のユニフォームに身を包み、最初のワールドカップを体験した初孫のさらちゃんです（写真は略）。最後は「じじバカ」でしたが、こんなワールドカップの一次ラウンドでした。

中塚：残り 10 分ぐらいですが、あとはそれぞれ、国内組の体験話だったりヨタ話だったり、そのあたをざっくばらんに共有できればと思います。海外組からの質問ももちろん OK です。徳田さんはずっと向こうにおられたので日本の様子がわからないとおっしゃってましたよね。

徳田：そうですね。日本は、私にしてみれば予想通りに勝ったんですけど、日本国内はすごく盛り上がっているんじゃないかなと想像していました。渋谷のクランブル交差点が海外のメディア（現地でみた CNN など）でも映ったりはしていましたが、実際の空気がどうだったのか本当にわからなくて、そのあたりを聞きたいなと思っています。2 試合目、3 試合目から来たお客さんには国内の様子は聞くんですけど、想像ができなかった状態でした。ぼくは 1998 年からずっと現場にいるので、国内の盛り上がりを現場で実感として一度も見たことがない人なのです。そのあたりが聞ければなと思います。

中塚：では「渋谷に在住在勤」の「サッカー好きのサラリーマン」、宇留間さん、お願いします。

宇留間：今大会は、地上波もそうなんですけど、やはり ABEMA さんの力がすごく大きかったなと個人的には思っています。ABEMA さんのすごいところは、しっかりとした解説者とアナウンサーを揃え、ある意味サッカー専用に中継をしていただいているので、玄人から見てすごく納得のいく見せ方をしてくれたことです。見ているものからすると共感を持ちながら、大会を通して見られたと思います。しかも、プレミアム登録をすれば何回も繰り返して、好きな時に見られるということで。仕事しながらでも。あと私のことですが、実は体調が悪くて、大会の前半は入院していたんです。入院中ですが病院の中で、それこそサッカー漬けでした。しかもチャット機能があるので、チャットを見ながら試合を見ます。一人で病室で見ているんですけど、皆さんと同じ共感を持ちながら試合を見られました。地上波では絶対にできないことです。パブリックビューイングみたいな、聞きたくない歓声もシャットアウトして、自分の思い通りにチャットを見ながら、しかも瞬間にしかチャットが出ないので、悪い情報が流れたとしても簡単に見逃せるので記憶にも残らないし、その場の共感だけですごく楽しく試合が見られました。リアルにどのぐらい視聴者がいるかが、いいか悪いか別としても数字で全部見られるので、このぐらい見ているんだというのを可視化しながら試合が見られます。サッカー好きな

人がサッカーの楽しさとか、サッカーの関心の具合を可視化しながら見ていた大会は今回が初めてでしたので、そういう意味ではすごく良かったなと思っています。

実際、街に町に出てみたら、ちゃんと若者が大勢いました。ただ、以前のような 10 月 31 日のハロウィンのように、変な外国人が居らず、日本語が通じる方々が集まっているだけなので、実はそんなにすごい騒ぎにはなっていないんです。盛り上がってはいましたが。そういう意味で言うと、すごくいい感じで盛り上がれて、かつ身内感があって、特異な大会だったなというのを思いながら期間中過ごしていました。

徳田さんの facebook 発信も、現地の様子がリアルにわかりながら拝見できたので、すごく楽しめたこの一ヶ月間でした。

中塚：ありがとうございます。他の方どうですか。国内組の方々で…。

では少し私の方からです。高校生はもちろんですが、いま私は毎週水曜日に多摩大学の「地域スポーツ論」という授業を担当しています。大学の 2 年生、3 年生ぐらいが受講しています。いまの大学 3 年生は、入学時からコロナで、みんなで集まってわいわいする経験がほとんどないまま来てしまっています。僕は代表ユニフォームで授業をしたり「ワールドカップ見てるか？」と振ってみたり、ABEMA のことを紹介したりしていました。学生からの反応を聞くと、それこそ「渋谷へ行ってみんなで盛り上がりました」とか、「初めてみんなで集まって、サッカーの試合をワイワイ言いながら見てました」とか、そういうことを言っています。コロナでずっと制限されていた学生にとっては、このタイミングでワールドカップがあって、皆で集まる機会が持てて、すごく良かったんじゃないかなと思いました。

地上波の話ですが、日テレ、TBS、テレ東はワールドカップのことをほとんど取り上げてくれませんでした。放送権を持っていなかったからです。地上波で放送したのは NHK、フジ、テレ朝だけです。フジやテレ朝では逆に、バラエティ的な者も含めて猛烈な勢いで取り上げてくれました。いまの WBC じゃないけれど、メディアによって露出することで選手の名前も覚えるし、見ようかなという気にもなってくるし、そういう傾向があったのかなという気がします。

うちの卒業生でもある影山さん。女の子の方の影山です。何とか坂の彼女がなかなか…。

木村：卒業生なんですか？　すごい話題になっていましたよね。

中塚：そうなんです。なかなか気の利いたコメントもしていたし。注目度アップですね。すごく良かったなと思いながら見ておりました。

木村：本当に好きでいらっしゃる感じが伝わったので良かったですよね。女性でああいうところに出て来られる方って、アサインはされているけど、ご本人はそんなでもないような方もたまにおられたりしますけど、影山さんは本当に、この人好きなんだろうなあっていう感じで。そういう意味でも拝見してすごく楽しかったです。

中塚：彼女はサッカーのプレーの方もうまいですよ。

木村：やっぱりなあ、そうだと思います。

徳田：木村さんはどこで見てたんですか？

木村：「バッカス」で見てました。「バッカス」っていうアーセナルサポのたまり場になっている居酒屋なんですけれども、そこで初戦のドイツ戦を見ました。

徳田：ああ、池袋の。

木村：池袋です。ドイツ戦のときに私、いたんですよ。振っていただいたんで少し話をさせていただくと、実を言うと、私はこんなところに参加していながらも、大変申し訳ないんですけど日本代表のユニフォームって買ったことがなかったんです。

中塚：吉原さんはいまも着ていますね。

吉原：こんばんは。

木村：時々吉原さんと「バッカス」の話をするんですけど、池袋にある居酒屋です。実を言うと私、今回の大会、ドイツには勝てるってずっと言って、みんなに冷たい視線を浴びていたんです。ドイツには勝てる。怪しいのはコスタリカで、スペインは決勝トーナメント行きを決めていれば、決勝トーナメントって言い方はダメですよね。ノックアウトラウンド行きを決めてるはずだから、スペインには勝てるかも、みたいな感じで、ドイツとスペインに勝って、コスタリカはやばいという予想をしていたんですね。ところがスペインが第 3 戦のときにまだ決まってなかったじゃないですか、勝ち上がりが。決まっていないスペインにはちょっと厳しいだろうなとか言っていたんです。でも、いや、もうお前が勝つって言ったら勝つと思うから、「勝つって言え」とみんなにプレッシャーを受けたんです。ドイツ戦、私が勝つ勝つと言ってたら勝ったんで、スペイン戦にも勝つと木村は言えって言われて。いや、でもちょっと嘘は言えないよねと思って。「わかった。勝とうとは思わないけど、勝てなかったら全力で謝る」って言ったんですよ。で、全力で謝るとともに、私が一度も買ったことのない日本代表のシャツを買ってやるって言ったんです。そしたら勝っちゃったんですね。なので生まれて初めて日本代表のシャツを買いました。

吉原：いいね、富安。

木村：はい、もちろん富安のです。私、アーセナルなので。それでスペイン戦も勝ったじゃないですか。もう周りがさらに盛り上がっちゃって、よっしゃ、この勢いでお前、クロアチア戦も勝つと言えって言い出してですね。ごめん、ちょっとそれは本当に難しいって言っていたら、まあああいう結果になってしまったわけなんですけれども…。そんなわけでですね、生まれて初めて日本代表のシャツを買ったという話を皆さんに聞いて頂きたくて、こんなお話をさせていただきました。

　ところが大変だったんですよ、日本代表のシャツも。それこそさっき徳田さんが、国内どうだったのとおっしゃってましたけど、ユニフォームがない。どこにも。売れちゃって。しかもいいサイズがなくて、本当に手に入らなくて、手に入るにしてもお届けは 2 月みたいな。でもこれで買わなかったら神様に叱られると思って。約束したんだから絶対買おうと思って、結局買えたのが大会が終わってからだったんです。本当だったらユニフォームを着て応援したかったですが。そんなこともありました。大会終わっちゃったんでもういいかなみたいな気持ちがここまで来たんですけど、いや、これはちゃんとお礼参りとして買わないといけないと思って買いました。これで徳を積んだので、また次の時には、私が勝っと言ったら日本が勝ってくれるんじゃないかと思います。

中塚：うちの学校の卒業生にアディダスジャパンの人がいて、早い段階でお願いしたので大量に揃えることができました。日本が勝ち進んで以降は、いまおっしゃったように、在庫がなくてという話ををしていましたね。

木村：何か所か問い合わせたんですけれども、本当なくて大変でした。しかもプリントオーダーするとそれのタイムラグもちょっと長くかかっちゃうみたいなもので。

吉原：自分の場合、サイズは早めに予約してたんですけども、マーキングがギリギリでしたね。最終的に久保選手にするか、三笘君は今度はやるかなと思ったんですけど、う～んって考えて。三笘君はオリンピックの時も本調子じゃなかったから、またあんなふうになっちゃうのかなと思って久保君のユニフォームにしたんだけど、逆の方が良かったかな。（三笘君は）今回よかったから。

木村：三笘選手、私プレミアリーグを毎週見るんですけれど、本当にイングランドですごいことになってます。めちゃくちゃヒーローですね。

吉原：アーセナルに行っちゃうかな。

木村：アーセナルに。どうでしょうか。

中塚：もし 100 億ぐらいの移籍が成立したら、そのうち何パーセントかは三笘を育てたクラブにお金が回ってくるから、筑波大蹴球部にも 1 億ぐらいくるんじゃないかな。

木村：岡崎選手の時にそうだったという話を聞きました。三笘選手もそうなるんですかね。

吉原：うちの高校からプロ（J リーグ選手）になったのが 1 人いるんですけど、やっぱりバックがあるみたいですね。片山君っていうんですけど。

中塚：ということで、この辺りから面白くなってくるところですが、ちょうどよい時間になってきました。すでに飲み始めている方が何人もおられると思いますが、一応オフィシャルにはここで中締めとし、5 分後にオフィシャルの乾杯をし、続きの話をワイワイできればなと思います。
　話題提供してくださった徳田さん、そして田中さん、守屋さん、笹原さん、ありがとうございました。めちゃぶりにお答えくださった鈴木さんはじめご参加の皆さまもありがとうございます。

以上

続きはオンライン飲み会